

すぐにわかる!

PDF/X-1a 入稿専門サイト

Pit-in/ピットイン

PDF ハンドブック



すぐに分かる！

Pit-in

ピットイン

安心

データチェック3時間以内！※
データに問題はないか迅速にチェック。お急ぎのお客さまも安心！

※中綴じ冊子・無線綴じ冊子は、
5時間以上のチェックのお時間をいただきます。

お得

PDF/X-1a で軽減できた工数を
低価格と短納期でお客様に還元！



なぜ PDF/X-1a なの？



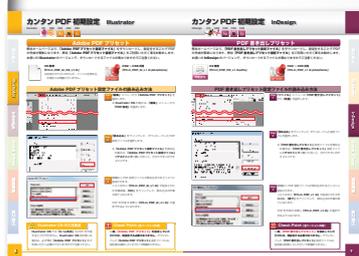
- カンタンな設定で入稿データが軽くなります。**
ホームページからプリセットファイルをダウンロードして、
約5分で初期設定がカンタンに！ 初期設定は最初の一度だけでOKです。
しかも、PDF/X-1aであればデータ容量も軽くなり、
アップロードにかかる時間を大幅に短縮できます。
- フォントのアウトライン忘れや
リンク画像の添付忘れといった入稿ミスが減ります。**
PDF/X-1aでは、フォントのアウトライン化やリンク画像も不要です。
入稿データもシンプルになり、ご入稿の手間を大幅に減らす事ができます。
- データチェックの作業工数が軽減した分を
お客様に低価格・短納期で還元できます。**
PDF/X-1aは印刷に準拠した形式のデータですので、
印刷に関わる大半のトラブルを防ぐことができます。
PDF/X-1aでご入稿していただく事によって、
低価格・短納期という形でお客様に還元することが実現できました。

PDF/X-1a入稿専門サイトだから「早い」「安い」を実現!

PDF/X-1aにはメリットがたくさん!

設定がカンタン!

プリセットファイルとマニュアルでカンタンにセットアップ。一度のセットアップで以後の設定は必要ありません!



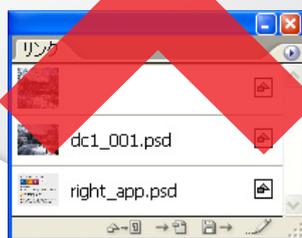
入稿がラクラク!

PDF/X-1aならデータ容量が軽く、入稿データもシンプルなので入稿作業がラクラク!



入稿ミス軽減!

フォントのアウトライン化・リンク画像の添付が不要となるので入稿のミスを防げます!



ご注文ナビゲーション

Pit-in は PDF X-1a 入稿専門サイトです。

Step 1 Pit-in 推奨の作成アプリケーションでデータ作成しましたか？

Pit-in 推奨アプリケーション一覧



YES

Step 2 入稿データは PDF ファイルですか？



ファイル名の例：
印刷用データ .pdf

アイコン表示は左のようになります。
ファイルの拡張子は「pdf」になります。

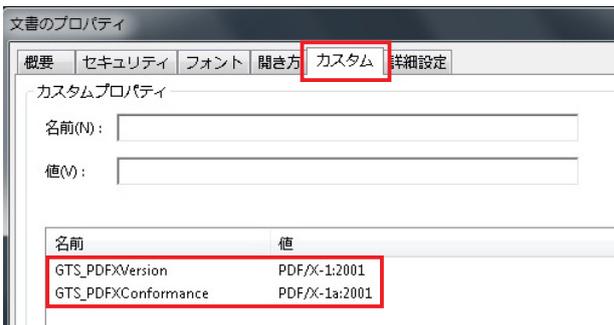
YES



NO

NO

Step 3 PDF は X-1a 形式ですか？ (Adobe Reader では確認できません)



PDF データを開き、「ファイル」メニューの「プロパティ」を表示し、「カスタム」タブを表示します。赤線で囲まれた部分を確認してください。

「PDF/X-1a」の表記がある場合は、「X-1a 形式」の PDF となります。

※ Illustrator CS では「X-1a 形式」は作成できませんが、弊社プリセットを使用するか、本冊子を参考に PDF を作成していただければ、受付可能となります。

下図よりご注文可能なデータかをご確認ください。



推奨外のアプリケーションをご利用の場合は、**「Pit-in」** へご注文いただく事ができません。弊社姉妹サイト**「Suprint」** をご利用ください。

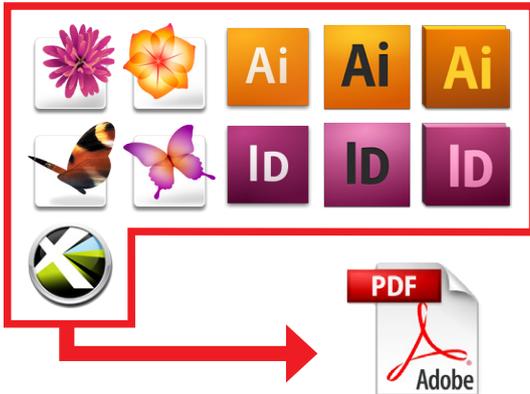
NO



<http://www.suprint.jp/>

Suprint へご注文をお願いいたします。**Suprint** では、多種多様な商品やアプリケーションに対応しております。

X-1a 形式を作成します



この冊子をご覧いただいて**「PDF/X-1a 形式」**のPDFを作成していただければ、ご注文可能となります。

YES

YES

Check Point

入稿できるファイルは**「pdf」**か**「zip」**などの圧縮データに限ります。



ZIP (OSX)

ZIP (Win)

ご入稿するファイルが複数の場合は、圧縮して一つのデータにしてください。
Windows、OS X どちらも標準の**「ZIP 形式」**での圧縮をオススメしています。



ピットイン

<http://pdf-pitin.jp/>

Pit-in へご注文可能なデータです。データの不備により、ご希望納期がズレ込む場合がございます。そのような事態を未然に防ぐためにも、ご入稿前のデータに不備がないかをご確認をお願いいたします。(P6のセルフチェックリストをご参照ください。)

ご入稿前のセルフチェックリスト

セルフチェックについて

セルフチェックリストの内容は、「X-1a 規格」以外の Pit-in 独自の確認事項です。

データチェックで問題が発生した場合、「**修正必須**」または「**お客様のご了承で生産可**」に該当にします。

「**修正必須**」に該当する場合は**必ずデータをご修正**ください。

「**お客様のご了承で生産可**」に該当する場合は**データをご修正いただくか、そのまま生産工程に進めても良いと、了承の返事**をいただきます。納期のズレ込みを防ぐためにも下記項目にて**セルフチェック**をお願いします。

セルフチェックリスト

- データのサイズはご注文のサイズですか？
 または、塗り足しを含めたサイズですか？
 ※サイズが異なる場合は「**修正必須**」または「**お客様のご了承で生産可**」となります。
 → P36 「サイズの確認について」参照
- 仕上がり位置の近くに見切れては困るオブジェクトが配置されていませんか？
 ※仕上がり近くにオブジェクトが配置されている場合は「**お客様のご了承で生産可**」となります。
 → P38 「塗り足しと仕上がりに近いオブジェクトについて」参照
- フチ無し印刷をご希望ですか？ ご希望の場合、データに塗り足しはありますか？
 ※フチ無し印刷をご希望でデータに塗り足しがない場合は「**お客様のご了承で生産可**」となります。
 → P38 「塗り足しと仕上がりに近いオブジェクトについて」参照
- 天地（上下）や折り加工（山折・谷折・表紙の位置）のご指示はデータ内に表記されていますか？
 または、別途テキストにてご指示がありますか？
 ※ご指示がない場合は弊社推奨基準で加工をいたしますが、弊社で判断しかねる場合は、「**お客様のご了承で生産可**」となります。
 → P44 ~ P45 「折り加工について」参照
- 特色をご使用の場合、特色は色分解処理されていますか？
 ※特色が分解処理されていない場合は「**修正必須**」となります。
 → P43 「特色について」参照
- 画像は印刷に必要な解像度に達していますか？
 粗くは表現されていませんか？
 ※画像がぼやけたり、粗く表現されている場合は「**お客様のご了承で生産可**」となります。
 → P39 「画像の粗さについて」参照
- ヘアライン（塗りのみの設定）や線幅が 0.06mm 以下の線を使用していませんか？
 ※ヘアラインや細い線を使用している場合は「**お客様のご了承で生産可**」となります。
- お客様の意図していないリッチブラックを使用していませんか？
 ※お客様の意図していないリッチブラックの使用と判断した場合は、「**お客様のご了承で生産可**」となります。
 → P41 「リッチブラックについて」参照
- トンボ以外に高濃度のオブジェクトはございませんか？
 ※トンボ以外に高濃度のオブジェクトが使用されている場合は、「**お客様のご了承で生産可**」となります。
 → P40 「高濃度について」参照

Pit-in（ピットイン）商品規格サイズ表

	単位 (mm)	
	定型サイズ	塗り足しサイズ
A0	841 × 1189	847 × 1195
A1	594 × 841	600 × 847
A2	420 × 594	426 × 600
A3	297 × 420	303 × 426
A4	210 × 297	216 × 303
A5	148 × 210	154 × 216
A6	105 × 148	111 × 154
A7	74 × 105	80 × 111
はがき	100 × 148	106 × 154
名刺	55 × 91	61 × 97

	単位 (mm)	
	定型サイズ	塗り足しサイズ
B0	1030 × 1456	1036 × 1462
B1	728 × 1030	734 × 1036
B2	515 × 728	521 × 734
B3	364 × 515	370 × 521
B4	257 × 364	263 × 370
B5	182 × 257	188 × 263
B6	128 × 182	134 × 188
B7	91 × 128	97 × 134
B8	64 × 91	70 × 97

Contents

はじめに

■ すぐに分かる！ Pit-in/ピットイン	2-3
■ ご注文ナビゲーション	4-5
■ ご入稿前のセルフチェックリスト	6

カンタン PDF 初期設定

■ Illustrator	Adobe PDF プリセット	8
■ InDesign	PDF 書き出しプリセット	9
■ Quark XPress 8	カラー設定・出力スタイル設定	10-11

Illustrator

■ 新規ドキュメント作成	CS・CS2	12-13
■ 新規ドキュメント作成	CS3	14
■ 新規ドキュメント作成	CS4・CS5	15
■ 特色のチェック	CS～CS5	16
■ 分版プレビュー	CS4・CS5	17
■ フォントのチェック	CS～CS5	18
■ リンクチェック	CS～CS5	19
■ 印刷用 PDF の作成	CS	20-21
■ PDF X-1a の作成	CS2～CS5	22-23

InDesign

■ 新規ドキュメント作成	CS～CS4	24
■ 新規ドキュメント作成	CS5	25
■ フォントのチェック	CS～CS5	26
■ リンクチェック	CS～CS5	27
■ PDF X-1a の作成	CS	28-29
■ PDF X-1a の作成	CS2～CS5	30-31

Quark XPress 8

■ 新規ドキュメント作成	32
■ フォント・リンクのチェック	33
■ PDF X-1a の作成	34-35

入稿データ確認項目

■ サイズの確認	36-37
■ 「塗り足し」と断裁位置に近いオブジェクトの確認	38
■ 画像の粗さの確認	39
■ 高濃度（レジストレーション）の確認	40
■ リッチブラックの確認	41
■ ブラックオーバープリント（スミノセ）の確認	42
■ 特色の使用の有無の確認	43

折り加工について

■ 折り加工	44-45
■ 中綴じ	46
■ 無線綴じ	47

カンタン PDF 初期設定 Illustrator

Illustrator CS CS2 CS3 CS4 CS5



Adobe PDF プリセット

弊社ホームページより、「**Adobe PDF プリセット設定ファイル**」をダウンロードし、設定をすることでPDFの作成が簡単になります。弊社「**Adobe PDF プリセット設定ファイル**」をご利用いただく事をお勧めします。お使いの **Illustrator** のバージョンで、ダウンロードするファイルが異なりますのでご注意ください。



CS 専用

「Pit-in_PDF_Ai_CS_v1.0」

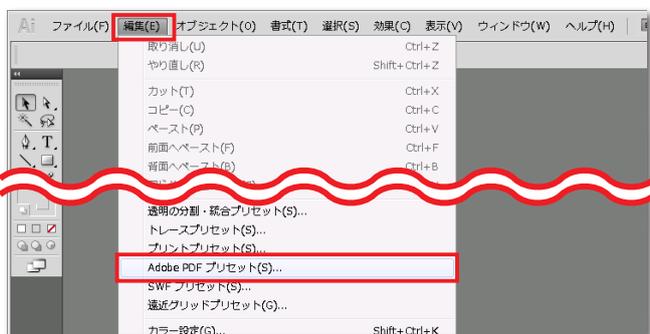
※拡張子がございませんが、ファイルを読み込む場合には問題ございません。



CS2 ~ CS5 共用

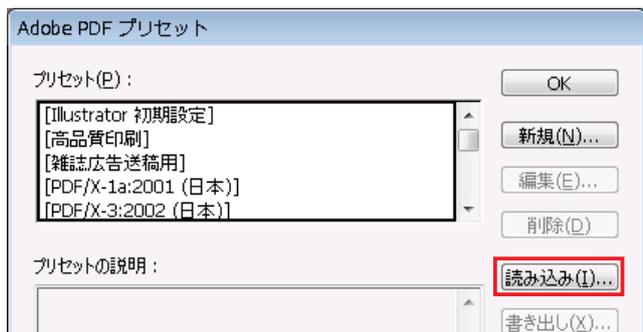
「Pit-in_PDF_Ai_v1.0.joboptions」

Adobe PDF プリセット設定ファイルの読み込み方法



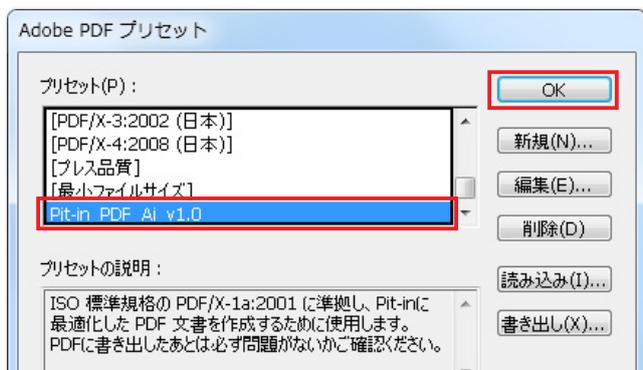
Step 1 「編集」メニューから「**Adobe PDF プリセット**」を選択します。

※ **Illustrator CS** の場合は、「編集」メニューから「**PDF 設定**」を選択します。



Step 2 「読み込み」をクリックして、ダウンロードしたPDF設定ファイルを選択します。

※ 「**Adobe PDF プリセット設定ファイル**」を読み込む場合は、「**Adobe PDF プリセット設定ファイル**」をデスクトップに置いておくと、分かりやすいのでオススメです。



Step 3 問題なくPDF設定ファイルが読み込まれるとリストに追加されます。

リストの中に「**Pit-in_PDF_Ai_v1.0**」が追加されたかを確認後、「**OK**」をクリックして、読み込みの作業が終了となります。

PDFを作成する際に「**Pit-in_PDF_Ai_v1.0**」が選択できるようになります。

※ **CS** のみ「**Pit-in_PDF_Ai_CS_v1.0**」となります。



Illustrator CS のご注意点

Illustrator CS では「**X-1a 形式**」のPDFを作成することができません。**Illustrator CS** をお使いの場合は、必ず弊社「**Adobe PDF プリセット**」をご利用いただく必要がありますのでご注意ください。



Check Point (全バージョン共通)

一度、「**Adobe PDF プリセット**」を設定していただければ、再設定する必要がありません。ダウンロードした「**Adobe PDF プリセット**」設定ファイルは、設定後は削除していただいて問題ありません。

カンタン PDF 初期設定 InDesign

InDesign CS CS2 CS3 CS4 CS5



PDF 書き出しプリセット

弊社ホームページより、「PDF 書き出しプリセット設定ファイル」をダウンロードし、設定をすることで PDF の作成が簡単になります。弊社「PDF 書き出しプリセット設定ファイル」をご利用いただく事をお勧めします。お使いの InDesign のバージョンで、ダウンロードするファイルが異なりますのでご注意ください。



CS 専用

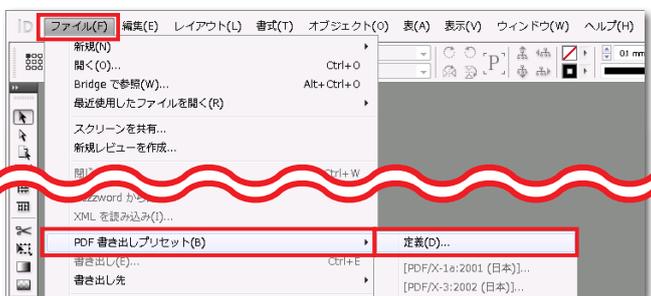
「Pit-in_PDF_CS_v1.0.pdfs」



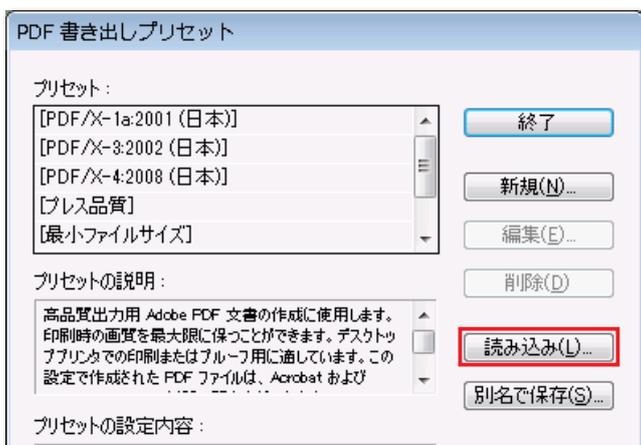
CS2 ~ CS5 共用

「Pit-in_PDF_v1.0.joboptions」

PDF 書き出しプリセット設定ファイルの読み込み方法

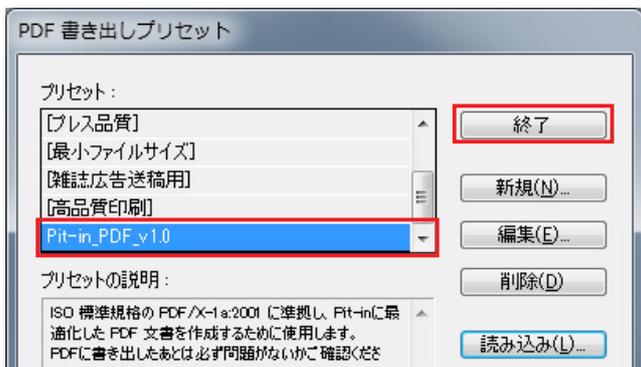


Step 1 「ファイル」メニューの「PDF 書き出しプリセット」から「定義」を選択します。



Step 2 「読み込み」をクリックして、ダウンロードした設定ファイルを選択します。

※ 「PDF 書き出しプリセット」設定ファイルを読み込む場合は、「PDF 書き出しプリセット」設定ファイルをデスクトップに置いておくと、分かりやすいのでオススメです。



Step 3 問題なく PDF 設定ファイルが読み込まれるとリストに追加されます。

リストの中に「Pit-in_PDF_v1.0」が追加されたかを確認後、「終了」をクリックして、読み込みの作業が終了となります。

PDF を作成する際に「Pit-in_PDF_v1.0」が選択できるようにします。



Check Point (全バージョン共通)

一度、「PDF 書き出しプリセット」を設定していただければ、再設定する必要がありません。ダウンロードした「PDF 書き出しプリセット」設定ファイルは、設定後は削除していただいて問題ありません。



カラーのセットアップ

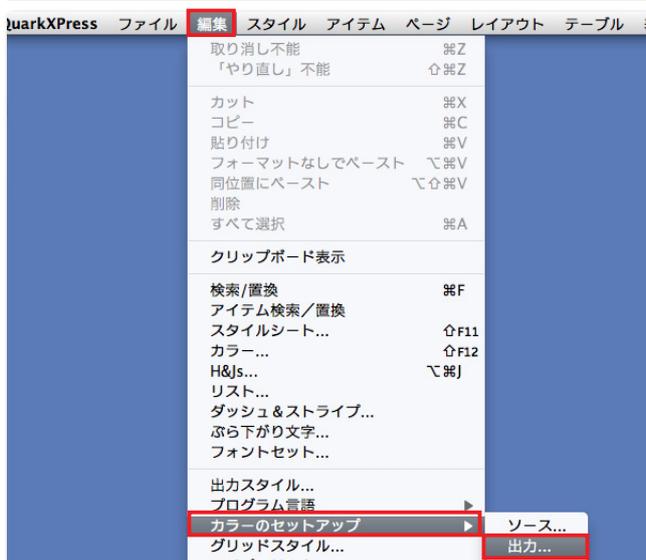
「**出力スタイル**」を設定の前に、弊社ホームページより「**カラーのセットアップ設定ファイル**」をダウンロードし設定をする必要があります。「**カラーのセットアップ**」の設定と「**出力スタイル**」設定は連動しています。

最初に「**カラーのセットアップ**」の設定をお願いいたします。



カラーのセットアップ用
「Pit-in_PDF_color_v1.0.xml」

カラーのセットアップ設定ファイルの読み込み方法



Step 1 「**編集**」メニューから「**カラーのセットアップ**」の「**出力**」を選択します。



Step 2 「**取り込み**」をクリックして、ダウンロードした設定ファイルを選択します。

※「**カラーのセットアップ**」設定ファイルを読み込む場合は、「**カラーのセットアップ**」設定ファイルを**デスクトップ**に置いておくと、分かりやすいのでオススメです。

Step 3 問題なくカラーのセットアップ設定ファイルが読み込まれるとリストに追加されます。

リストの中に「**Pit-in_PDF_color_v1.0J**」が追加されたかを確認後、「**保存**」をクリックして、読み込みの作業が終了となります。

Check Point

一度、「**カラーのセットアップ**」を設定していただければ、再設定する必要がありません。ダウンロードした「**カラーのセットアップ**」設定ファイルは、設定後は削除していただいて問題ありません。

出力スタイル

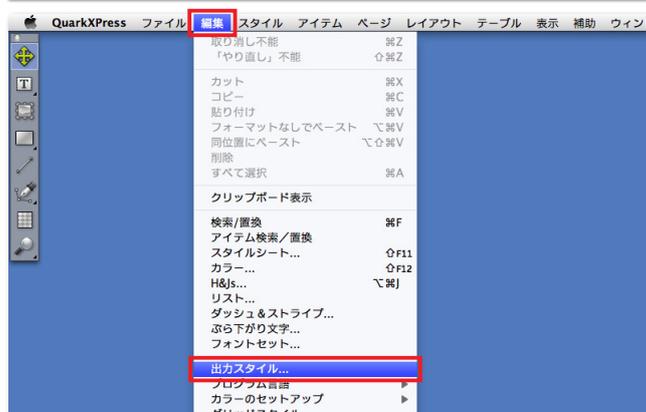
弊社ホームページより、「出力スタイル設定ファイル」をダウンロードし、設定をすることでPDFの作成が簡単になります。弊社「出力スタイル設定ファイル」をご利用いただく事をお勧めします。

「カラーのセットアップ」の設定後に「出力スタイル」の設定をお願いいたします。

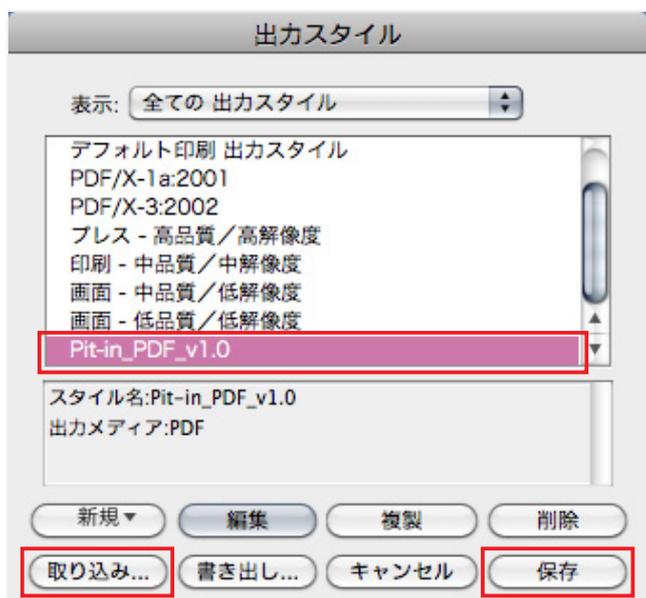


出力スタイル用
「Pit-in_PDF_v1.0.xml」

出力スタイル設定ファイルの読み込み方法



Step 1 「編集」メニューから「出力スタイル」を選択します。



Step 2 「取り込み」をクリックして、ダウンロードした設定ファイルを選択します。

※「出力スタイル」設定ファイルを読み込む場合は、「出力スタイル」設定ファイルをデスクトップに置いておくと、分かりやすいのでオススメです。

Step 3 問題なく「出力スタイル」設定ファイルが読み込まれるとリストに追加されます。

リストの中に「Pit-in_PDF_v1.0」が追加されたかを確認後、「保存」をクリックして、読み込みの作業が終了となります。

PDFを作成する際に「Pit-in_PDF_v1.0」が選択できるようになります。

Check Point

必ず「出力スタイル」の設定の前に「カラーのセットアップ」の設定してください。

一度、「出力スタイル」を設定していただければ、再設定する必要がありません。ダウンロードした「出力スタイル」設定ファイルは、設定後は削除していただいて問題ありません。

新規ドキュメント作成 Illustrator CS・CS2

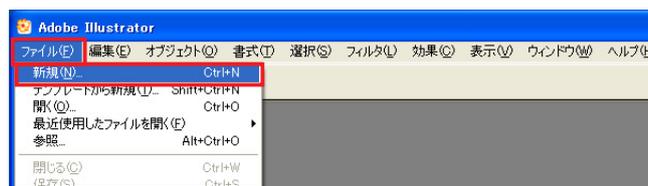
Illustrator CS CS2 CS3 CS4 CS5



Illustrator CS・CS2 の新規ドキュメントの作成方法

ここでは、Illustrator CS・CS2 の新規ドキュメントの作成の手順を説明します。

作業手順

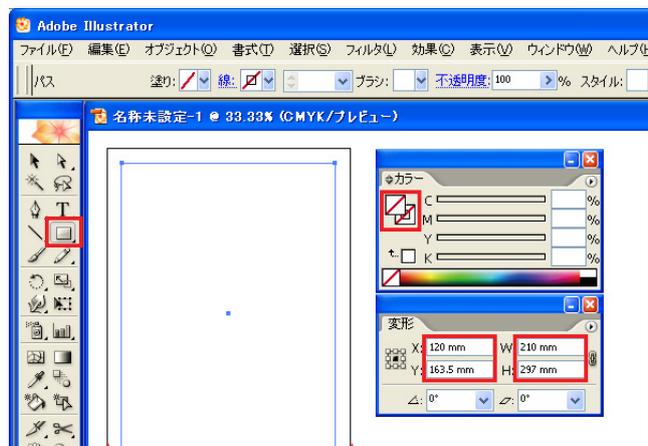


Step 1 「ファイル」メニューより「新規」を選択します。



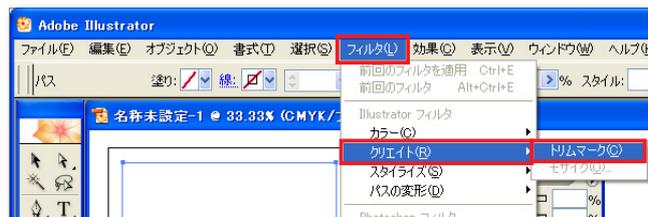
Step 2 〈アートボード設定〉の〈サイズ〉の、〈幅〉と〈高さ〉にご希望の仕上がりサイズに「30mm」足した大きいサイズで直接入力します。
〈カラーモード〉は「CMYK カラー」を選択します。

※ A4 の場合は「幅 210mm 高さ 297mm」に「30mm」足したサイズとなる「幅 240mm 高さ 327mm」に設定します。



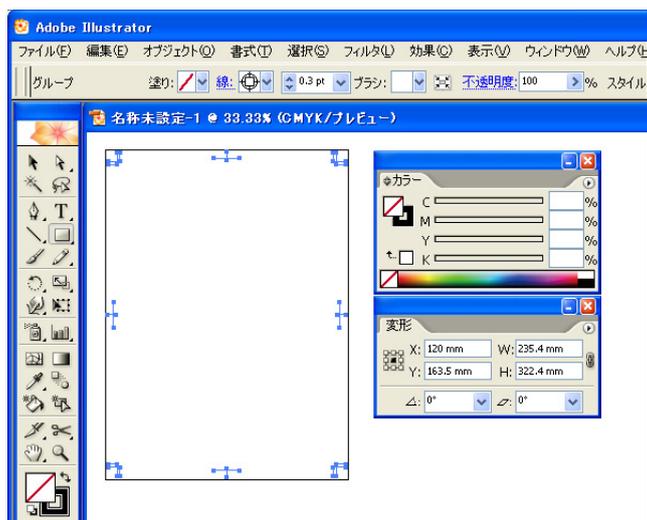
Step 3 ご希望の仕上がりサイズの四角いオブジェクトを、アートボードのセンターになるように作成します。
四角いオブジェクトの〈塗り〉と〈線〉の色設定を「なし」に設定します。

アートボード



Step 4 STEP 3 の四角いオブジェクトが選択されている状態で「フィルタ」メニューの「クリエイト」から「トリムマーク」を選択します。

作業手順



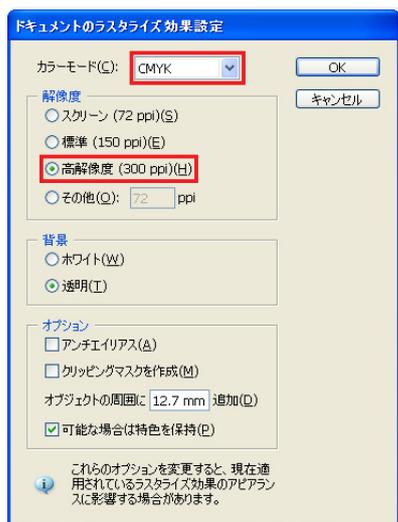
Step 5 「トンボ」のオブジェクトが作成されます。
「オブジェクト」メニューの**「ロック」**より**「選択」**を選択し、「トンボ」のオブジェクトをロックして動かさないようにします。

仕上がりの印刷物イメージが、フチ無し印刷をご希望の場合は、トンボの二本の線のうちの外側の線まで地色や写真を伸ばして**「塗り足し」**を作成します。

※折り加工などの指示をデータ内に入れる場合は、アートボードの中におさまるようにします。「トンボ」の内側に折り加工などの指示が入ってしまうと印刷されてしまいますのでご注意ください。



Step 6 「効果」メニューより**「ドキュメントのラスタライズ効果設定」**を選択します。



Step 7 **「カラーモード」**を**「CMYK」**。
「解像度」を**「高解像度 (300dpi)」**か**「その他」**を選択し、**「350dpi」**以上を直接入力します。

Check Point (全バージョン共通)

「塗り足し」についての詳しい説明は、P38の「データ作成時には「塗り足し」「見切れては困るオブジェクト」に注意してください」をご参照ください。

新規ドキュメント作成 Illustrator CS3

Illustrator CS CS2 CS3 CS4 CS5



Illustrator CS3 の新規ドキュメントの作成方法

ここでは、Illustrator CS3 の新規ドキュメントの作成の手順を説明します。

作業手順

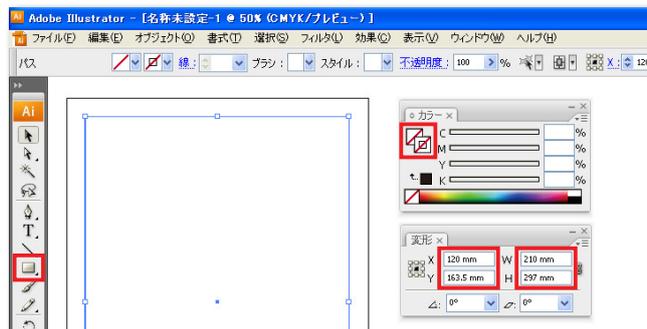


Step 1 「ファイル」メニューより「新規」を選択します。

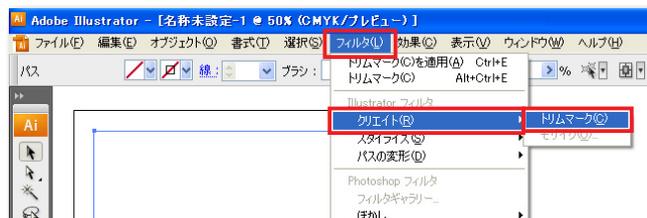


Step 2 「サイズ」の、「幅」と「高さ」にご希望の仕上がりサイズに「30mm」足した大きいサイズを直接入力します。「カラーモード」は「CMYK カラー」、《ラスタライズ効果》が「高解像度 (300ppi)」になっていることを確認します。

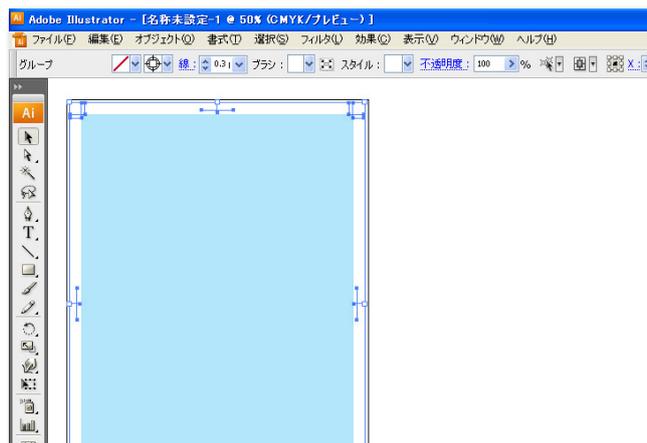
※ A4 の場合は「幅 210mm 高さ 297mm」に「30mm」足したサイズとなる「幅 240mm 高さ 327mm」に設定します。



Step 3 ご希望の仕上がりサイズの四角いオブジェクトを、アートボードのセンターになるように作成します。四角いオブジェクトの《塗り》と《線》の色設定を「なし」に設定します。



Step 4 STEP 3 の四角いオブジェクトが選択されている状態で「フィルタ」メニューの「クリエイティブ」から「トリムマーク」を選択します。



Step 5 「トンボ」のオブジェクトが作成されます。「オブジェクト」メニューの「ロック」より「選択」を選択し、「トンボ」のオブジェクトをロックして動かないようにします。仕上がりの印刷物イメージが、フチ無し印刷をご希望の場合は、トンボの二本の線のうちの外側の線まで地色や写真を伸ばして「塗り足し」を作成します。

※ 折り加工などの指示をデータ内に入れる場合は、アートボードの中におさまるようにします。「トンボ」の内側に折り加工などの指示が入ってしまうと、印刷されてしまいますのでご注意ください。



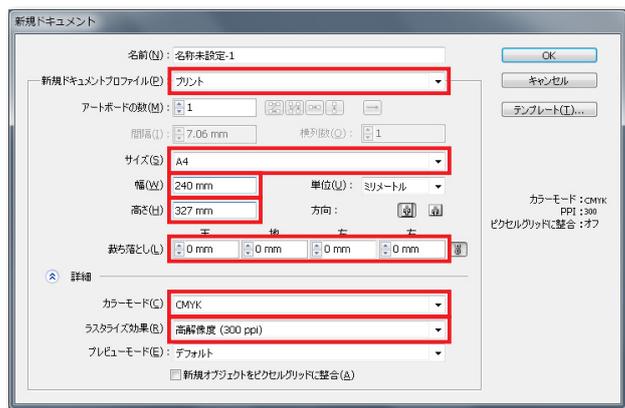
Illustrator CS4・CS5 の新規ドキュメントの作成方法

ここでは、Illustrator CS4・CS5 の新規ドキュメントの作成の手順を説明します。

作業手順

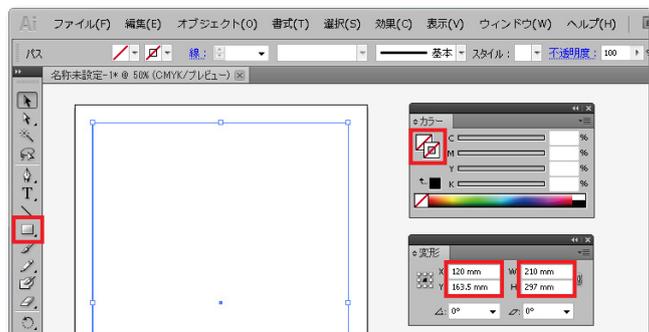


Step 1 「ファイル」メニューより「新規」を選択します。



Step 2 「新規ドキュメントプロファイル」で「プリント」を選択します。
 「サイズ」の「幅」と「高さ」にご希望の仕上がりサイズに「30mm」足した大きいサイズを直接入力します。
 「カラーモード」は「CMYK カラー」、〈ラスタライズ効果〉が「高解像度 (300ppi)」になっていることを確認します。

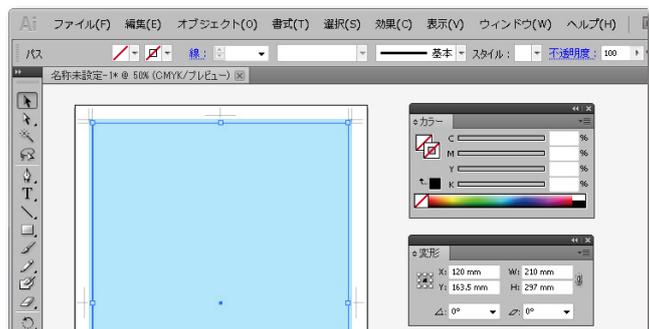
※ A4 の場合は「幅 210mm 高さ 297mm」に「30mm」足したサイズとなる「幅 240mm 高さ 327mm」に設定します。
 ※アートボード内にトンボを含めて作成するため、〈裁ち落とし〉は全て「0mm」に設定します。



Step 3 ご希望の仕上がりサイズの四角いオブジェクトを、アートボードのセンターになるように作成します。
 四角いオブジェクトの〈塗り〉と〈線〉の色設定を「なし」に設定します。



Step 4 STEP 3 の四角いオブジェクトが選択されている状態で「効果」メニューから「トリムマーク」を選択します。



Step 5 選択している四角いオブジェクトに「トンボ」が表示されます。仕上がりの印刷物イメージが、フチ無し印刷をご希望の場合は、トンボの二本の線のうちの外側の線まで地色や写真を伸ばして「塗り足し」を作成します。

※折り加工などの指示をデータ内に入れる場合は、アートボードの中におさまるようにします。「トンボ」の内側に折り加工などの指示が入ってしまうと、印刷されてしまいますのでご注意ください。

データ作成時のご注意とチェック

Illustrator CS CS2 CS3 CS4 CS5



特色のチェック

ここでは、Illustrator CS ~ CS5 の特色のチェックの手順を説明します。

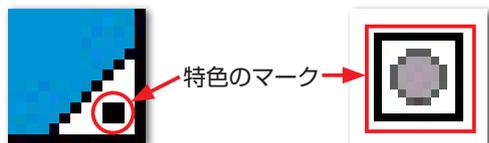
特色が分解されない状態のまま PDF を作成すると、特色部分が抜けるなど、特色部分のオブジェクトが画面表示とは全く異なる状態で印刷されてしまいます。PDF 作成前に必ず特色をプロセスカラーへ分解してください。

作業手順

サムネール表示



リスト表示



Step 1

「スウォッチ」パレットに登録されているスウォッチに「特色」のマークがあるか確認します。

「スウォッチ」パレットが表示されていない場合は「ウィンドウ」メニューより「スウォッチ」を選択して表示させます。

「スウォッチ」パレットが「サムネール」表示の場合、右下に白い三角形のエリアがあり、その中に黒い点が表示されている状態が「特色」の状態となります。

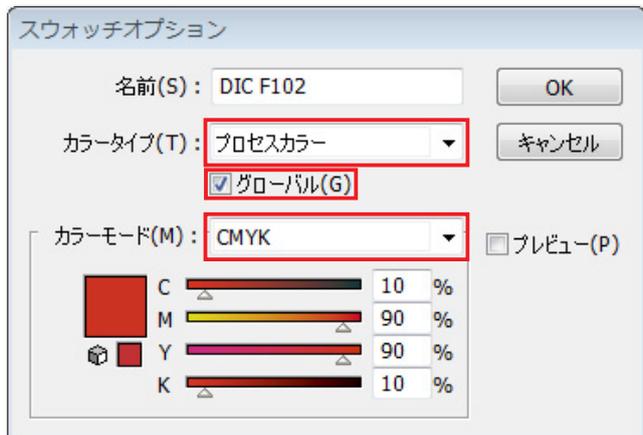
「リスト」表示の場合は「スウォッチ」の名前の後ろのカラーモードを示すアイコンの前に  が付いている状態が「特色」の状態となります。

オブジェクトが何も選ばれていないことを確認し、「特色」のマークの付いた「スウォッチ」をダブルクリックします。

Step 2

〈スウォッチオプション〉の〈カラータイプ〉で「プロセスカラー」を選択することにより「特色」から「プロセスカラー」へ色分解されます。

「カラーモード」が「CMYK」になっていることを確認します。「グローバル」にチェックを入れておくと、後からの修正が楽になります。



Step 3

「スウォッチ」パレットを確認し、全ての「特色」のマークが消えている事を確認してください。



データ作成時のご注意とチェック

Illustrator CS CS2 CS3 CS4 CS5



Illustrator CS4・CS5 分版プレビュー

ここでは、Illustrator CS4・CS5の「分版プレビュー」の機能を説明します。

「分版プレビュー」は、作成したデータの色分解した構造を、画面上で視覚的に確認する事ができる機能です。「分版プレビュー」の機能を使用する事により、「レジストレーション」や「リッチブラック」といった不備項目をPDF作成前に発見する事が可能です。

作業手順



Step 1 「ウィンドウ」メニューより「分版プレビュー」を選択し、「分版プレビュー」パレットを表示します。



Step 2 「分版プレビュー」パレットの〈オーバープリントプレビュー〉にチェックを入れます。



Step 3 「分版プレビュー」パレットの■〈Black〉のチェックをはずします。

「K版」の成分が抜けた状態で画面表示されます。画面では「K版のみ黒色 K100%」と「C版とM版を含んだ黒い色」は同じように表示されていましたが、「K版」の成分が抜けた状態では、「C版とM版を含んだ黒い色」が「K版」以外に「C版」と「M版」の成分を含んでいる事が確認できます。



Step 4 「分版プレビュー」パレットの■〈Cyan〉のチェックもはずします。

すると、画面では「M版」と「Y版」の成分のみの表示となりました。このように各版のチェックを入れたり外したりする事で、データ内の色の構造を視覚的に確認できます。

〈分版プレビュー〉パレットの各色を本文では、

- 〈Cyan〉 → 「C版」
- 〈Magenta〉 → 「M版」
- 〈Yellow〉 → 「Y版」
- 〈Black〉 → 「K版」

と説明させていただきます。

Step 5 この作業で「C版とM版を含んだ黒い色」部分が、「K版」以外の成分を含んだ黒色だと判りました。

「K版」以外の成分を含んだ黒色が意図的に作成していなかった場合、印刷物の仕上がりが意図しない結果となりますので、「K100%」に黒色を修正します。



Check Point

「レジストレーション」「リッチブラック」については、P40・P41でも詳しく説明しておりますので、ご参照ください。

データ作成時のご注意とチェック

Illustrator CS CS2 CS3 CS4 CS5



フォントのチェック

ここでは、Illustrator CS ~ CS5 のフォントチェックの手順を説明します。
フォントが全てアウトライン化されている場合でも、「フォント検索」にて問題ないかチェックしてください。

作業手順



Step 1 「書式」メニューから「フォント検索」を選択します。



Step 2 〈ドキュメントのフォント〉がデータ内で使用されているフォントになります。
フォントの中で名前の後ろに「アスタリスク：*」が付き、「山括弧：<>」で囲まれたフォントが PC にインストールされていないために問題のあるフォントになります。

例) <ShinMGoPro Ultra-90ms-RKSJ-H* >

問題のあるフォントは必ず修正していただく必要があります。

修正方法は、「PC にフォントをインストールする」、または「すでに PC にインストールされている他のフォントに置き換える」のどちらかとなります。

埋め込みできない書体に注意

〈フォント検索〉問題がない場合でも、エンベッド（埋め込み）が許可されていないフォントもあります。エンベッド（埋め込み）できないフォントがある場合や、フォント関連の問題のエラーで変換できない場合は、PDF 変換する前に文字を全てアウトライン化することで PDF を作成する事が可能となります。

データ作成時のご注意とチェック

Illustrator CS CS2 CS3 CS4 CS5



リンクのチェック

ここでは、Illustrator CS ~ CS5 のリンクのチェックの手順を説明します。

Illustrator CS・CS2 では画像にノイズが発生する場合があります。画像にノイズが発生するのを防ぐために、「埋め込み」の状態にしてください。

作業手順 (CS・CS2)



Step 1 配置した画像の状況を「リンク」パレットで確認します。「リンク」パレットが表示されていない場合は「ウィンドウ」メニューから「リンク」を選択します。配置されている画像のファイル名の後ろに が付いている場合は、同じ名前の画像ファイルが見つからない状態で、このままでは画像が抜けて印刷されてしまいます。

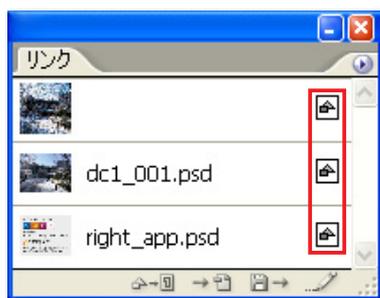
が表示されないように「画像を置き換える」または「画像を配置し直す」のどちらかで修正する必要があります。



Step 2 Illustrator CS・CS2 では、画像にノイズが入るなどの問題が発生するため、PDF を作成する際に全てのリンク画像を「埋め込み」の状態にする必要があります。「リンク」パレットの右上にサブメニューを表示するためのマーク があります。

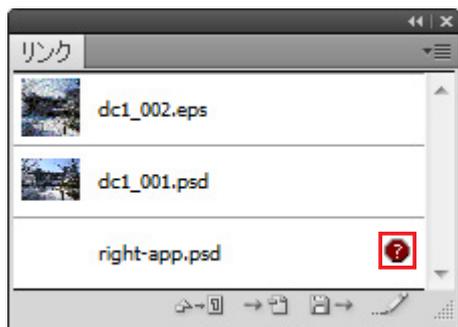
埋め込み画像を選択して右上のサブメニューより「画像を埋め込み」を選択すると「埋め込み」になります。

※データ作成時は、画像が更新しやすく作業の処理速度も速いので、「リンク」の状態でも構いません。



Step 3 「埋め込み」の状態になると、右側にマーク が表示されます。「リンク」パレットの全ての画像に「埋め込みマーク 」が表示されるようにしてください。

作業手順 (CS3 ~ CS5)



Step 1 配置した画像の状況を「リンク」パレットで確認します。「リンク」パレットが表示されていない場合は「ウィンドウ」メニューから「リンク」を選択します。配置されている画像の名前の後ろに が付いていると同じ名前の画像ファイルが見つからない状態で、このままでは画像が抜けて印刷されてしまいます。

が表示されないように「画像を置き換える」または「画像を配置し直す」のどちらかで修正する必要があります。

※ Illustrator CS3 以降では画像を必ず埋め込む必要はなく、「リンク」の状態でも問題ありません。

印刷用 PDF の作成 Illustrator CS

Illustrator CS CS2 CS3 CS4 CS5



Illustrator CS 印刷用 PDF の作成

ここでは、Illustrator CS の PDF の作成手順を説明します。

Illustrator CS では PDF X-1a 形式を作成することができませんが、印刷に準拠した形式の PDF を作成する事は可能です。

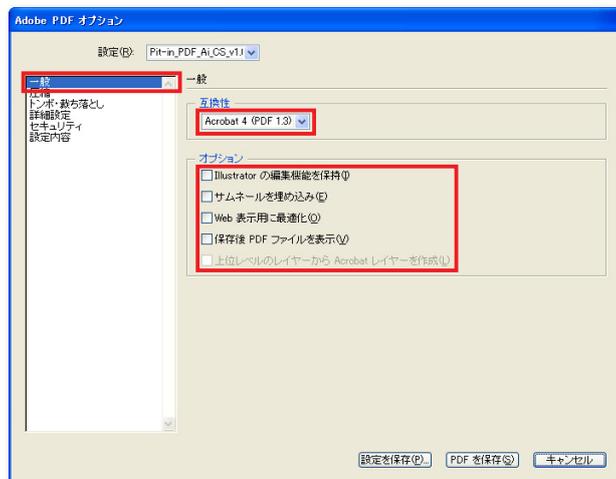
弊社プリセットをご使用していない場合は、下記手順に従って作業して下さい。

作業手順

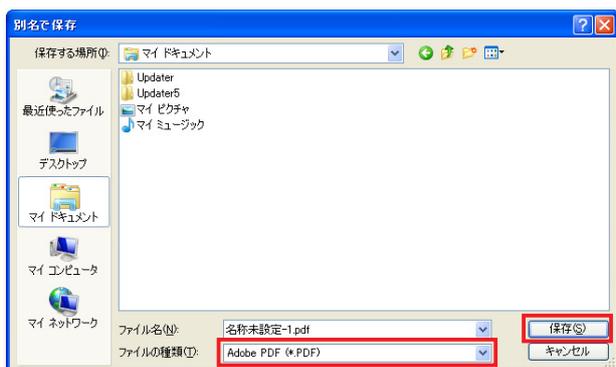
Step 1 「ファイル」メニューから「別名で保存」を選択します。



Step 3 「一般」の「互換性」は「Acrobat 4 (PDF 1.3)」を選択します。「オプション」は全てのチェックを外します。



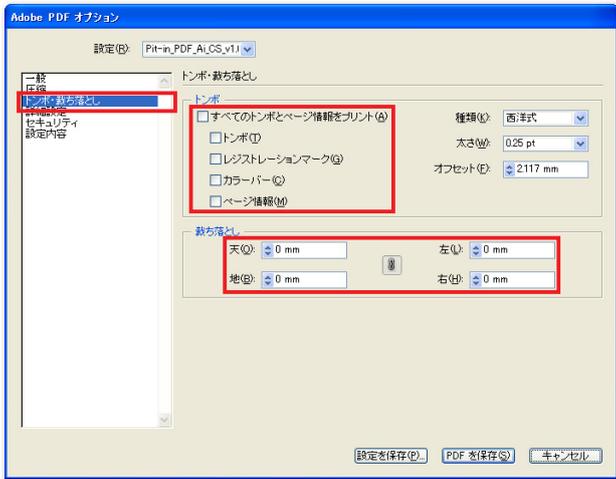
Step 2 保存場所とファイル名を指定して「ファイルの種類」を「Adobe PDF (*.PDF)」を選択して「保存」を押します。



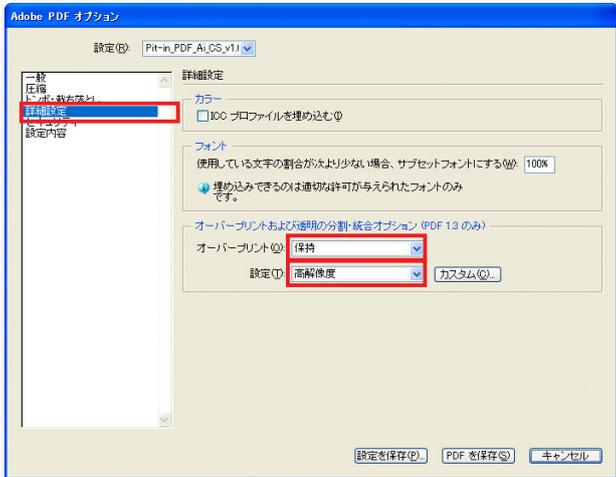
Step 4 「圧縮」に切り替えます。画像は全て「ダウンサンプルしない」を選択します。「カラー画像」と「グレースケール画像」の「圧縮」は「ZIP」か「JPEG」を選択します。「JPEG」を選択した場合は「画質」で「最高」を選択します。「白黒画像」の「圧縮」は「CCITT Group 4」のままで問題ありません。



- Step 5** **〈トンボと裁ち落とし〉**に切り替えます。
〈トンボ〉部分のチェックを全て外します。
〈裁ち落とし〉の**〈天〉**、**〈地〉**、**〈左〉**、**〈右〉**の数値は、全て**「0mm」**と入力します。



- Step 6** **〈詳細設定〉**に切り替えます。
〈オーバープリント〉の設定は**「保持」**を選択します。
〈設定〉は**「高解像度」**を選択します。
 ※データ内で**透明機能**や**オーバープリント**を使用していない場合は選択できません。



Check Point

弊社プリセットを**P8**で設定が済んでいる場合は、**Step 3**の画面で**〈設定〉**から**「Pit-in_PDF_Ai_CS_v1.0」**を選択します。



- Step 7** **〈セキュリティ〉**に切り替えます。
〈セキュリティ〉のチェックが全て外れている事を確認します。



- Step 8** 設定を再度確認して問題が無ければ**「PDFを保存」**をクリックしてPDFを作成します。

- Step 9** 作成されたPDFを開き、問題がないか確認します。

「Pit-in_PDF_Ai_CS_v1.0」を選択すると、**Step 3 ~ 7**の手順は確認のみのカンタンな作業で済みます。

作成後の**「確認項目」**についての詳しい説明は、**P36 ~ 43**をご参照ください。

PDF X-1a の作成 Illustrator CS2 ~ CS5

Illustrator CS CS2 CS3 CS4 CS5



Illustrator CS2 ~ CS5 PDF X-1a 形式の作成

ここでは、**Illustrator CS2 ~ CS5** の **PDF X-1a 形式** の作成の手順を説明します。
PDF X-1a 形式 は印刷に準拠した形式ですので、印刷に関わる大半のトラブルが解消されます。
弊社プリセットをご使用していない場合は、下記手順に従って作業して下さい。

作業手順

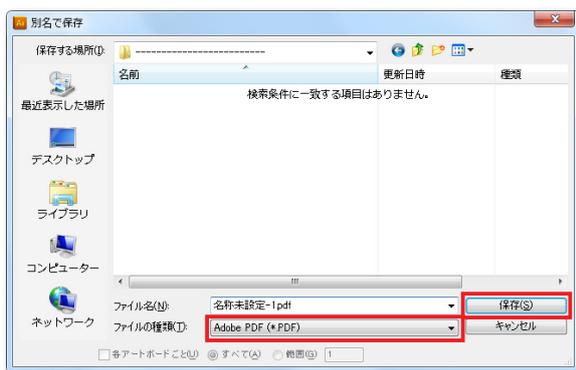
Step 1 **〈ファイル〉** メニューから **〈別名で保存〉** を選択します。



Step 3 **〈準拠する規格〉** は「**PDF/X-1a:2001**」を選択します。
〈互換性のある形式〉 は「**Acrobat 4 (PDF 1.3)**」を選択します。
〈一般〉 の **〈オプション〉** は全てのチェックを外します。



Step 2 保存場所、ファイル名を指定して **〈ファイルの種類〉** を「**Adobe PDF (* .PDF)**」を選択して「**保存**」を押します。



Step 4 **〈圧縮〉** に切り替えます。
画像は全て「**ダウンサンプルしない**」を選択します。
〈カラー画像〉 と **〈グレースケール画像〉** の **〈圧縮〉** は「**ZIP**」か「**JPEG**」を選択します。「**JPEG**」を選択した場合は **〈画質〉** で「**最高**」を選択します。
〈白黒画像〉 の **〈圧縮〉** は「**CCITT Group 4**」のままで問題ありません。



はじめに

Illustrator

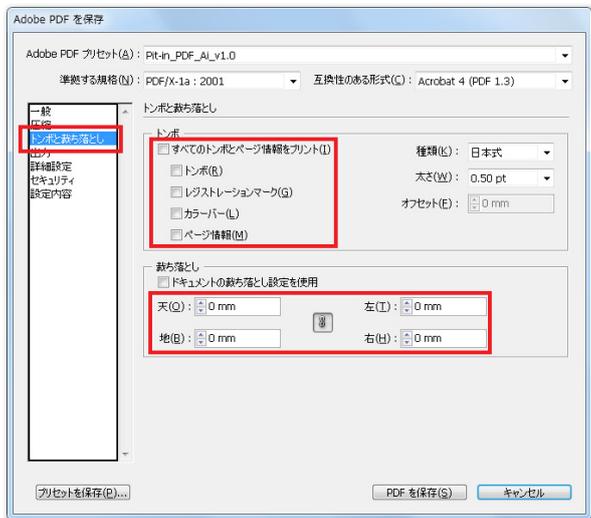
InDesign

Quark XPress

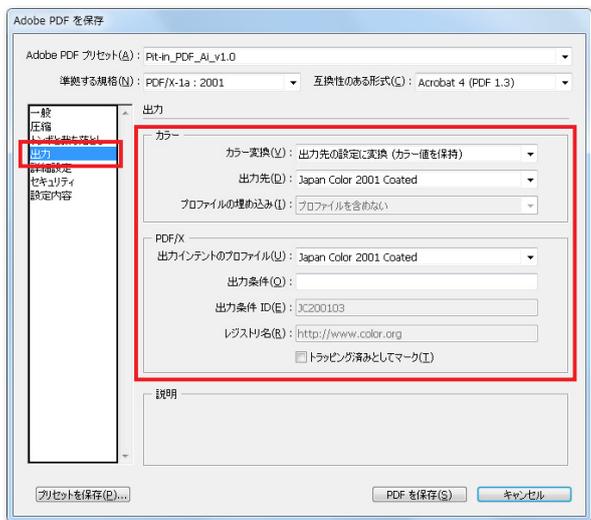
確認項目

折り加工

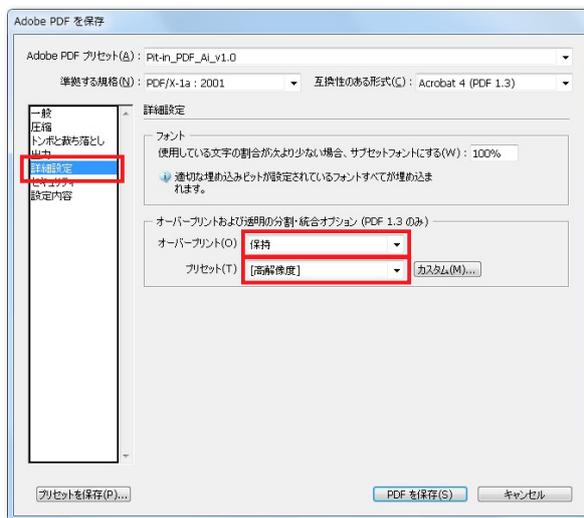
- Step 5** **〈トンボと裁ち落とし〉**に切り替えます。
〈トンボ〉のチェックを全て外します。
〈裁ち落とし〉の**〈天〉**、**〈地〉**、**〈左〉**、**〈右〉**の数値は、
 全て**「0mm」**と入力します。



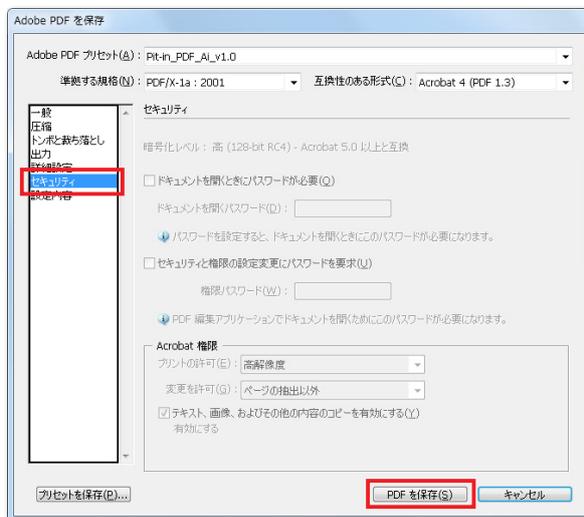
- Step 6** **〈出力〉**に切り替えます。
〈カラー〉と**〈PDF/X〉**が下の画面のような設定になっている事を確認します。



- Step 7** **〈詳細設定〉**に切り替えます。
〈オーバープリント〉の設定は**「保持」**を選択します。
〈プリセット〉は**「高解像度」**を選択します。
 ※データ内で**透明機能**や**オーバープリント**を使用していない場合は選択できません。



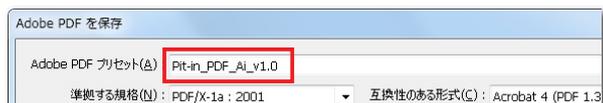
- Step 8** **〈セキュリティ〉**に切り替えます。
〈セキュリティ〉が何も設定されていない事を確認してください。



- Step 9** 全ての設定を再度確認し、**「PDFを保存」**をクリックするとPDFが作成されます。作成されたPDFを開き、問題が無いか確認します。

Check Point

弊社プリセットを**P8**で設定が済んでいる場合は、**Step 3**の画面で**〈Adobe PDF プリセット〉**から**「Pit-in_PDF_Ai_v1.0」**を選択します。



「Pit-in_PDF_Ai_v1.0」を選択すると、**Step 3 ~ 8**の手順は確認のみのカンタンな作業で済みます。

作成後の**「確認項目」**についての詳しい説明は、**P36 ~ 43**をご参照ください。

新規ドキュメント作成 Illustrator CS ~ CS4

InDesign CS CS2 CS3 CS4 CS5



InDesign CS ~ CS4 の新規ドキュメントの作成方法

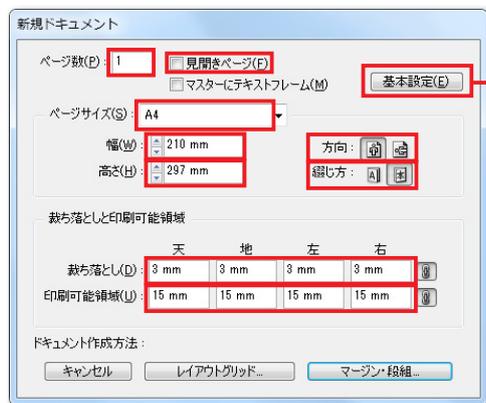
ここでは、**InDesign CS ~ CS4** の新規ドキュメントの作成の手順を説明します。

InDesign では、**最初に新規ドキュメントの作成の際に、必ず印刷をご希望するサイズでページサイズを設定していただくようお願いいたします。** データを作成してからでは、サイズなどの修正の後にレイアウトのバランスなども修正する必要があり、大変な手間がかかります。

作業手順



Step 1 「ファイル」メニューの「新規」より「ドキュメント」を選択します。



Step 2 〈ページ数〉には作成予定のページ数を入力します。後からページを追加や削除する事も可能です。

※ 〈新規ドキュメント〉画面が左の図と異なる場合は、右上の「詳細設定」ボタン（左の図では「基本設定」と同じ位置）をクリックします。

Step 3 チラシなどの単ページ案件は〈見開きページ〉のチェックを外し、冊子などの案件の場合は〈見開きページ〉のチェックを入れます。

Step 4 〈ページサイズ〉でご希望のサイズを選択するか、〈幅〉と〈高さ〉にご希望のサイズを数値で直接入力します。

Step 5 〈方向〉で縦長のドキュメントか、横長のドキュメントかを指定します。
〈綴じ方〉で冊子の綴じ位置が、右側か左側かを指定します。〈見開きページ〉のチェックが外れている場合（チラシなどの単ページ案件）はどちらでも構いません。

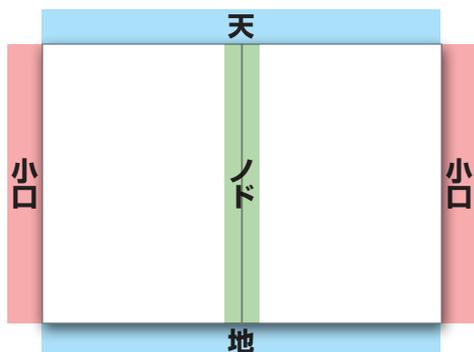
Step 6 〈裁ち落としと印刷可能領域〉の〈裁ち落とし〉の〈天〉、〈地〉、〈左〉、〈右〉に「3mm」を入力します。〈裁ち落とし〉が「塗り足し」部分にあたります。
〈印刷可能領域〉は基本全て「15mm」に設定します。

※ 〈見開きページ〉にチェックを入れた場合は、〈左〉の表記が〈ノド〉に、〈右〉の表記が〈小口〉になります。

Step 7 〈レイアウトグリッド〉か〈マージン段組み〉どちらかのボタンを押して設定が終了となります。

ノド・小口について

〈見開きページ〉にチェックを入れた場合は「左」が「ノド」、「右」が「小口」に表示が切り替わりますが、下の図のように「ノド」は綴じる部分、「小口」は外側部分となるため注意が必要です。



新規ドキュメントの作成 Illustrator CS5

InDesign CS CS2 CS3 CS4 CS5



InDesign CS5 の新規ドキュメントの作成方法

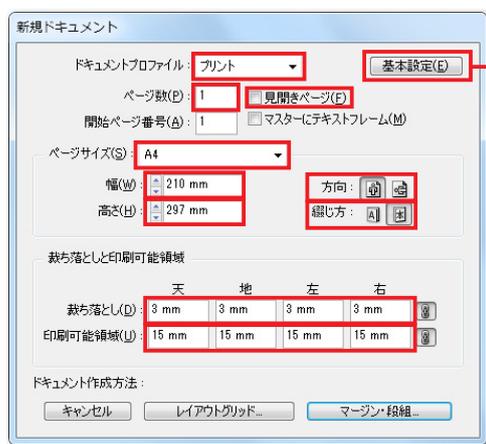
ここでは、**InDesign CS5** の新規ドキュメントの作成の手順を説明します。

InDesign では、**最初に新規ドキュメントの作成の際に、必ず印刷をご希望するサイズでページサイズを設定していただくようお願いいたします。** データを作成してからでは、サイズなどの修正の後にレイアウトのバランスなども修正する必要があり、大変な手間がかかります。

作業手順



Step 1 「ファイル」メニューの「新規」より「ドキュメント」を選択します。



Step 2 「ドキュメントプロファイル」は「プリント」を選択します。

Step 3 「ページ数」には作成予定のページ数を入力します。後からページを追加や削除する事も可能です。

※ 「新規ドキュメント」画面が左の図と異なる場合は、右上の「詳細設定」ボタン（左の図では「基本設定」と同じ位置）をクリックします。

Step 4 チラシなどの単ページ案件は「見開きページ」のチェックを外し、冊子などの案件の場合は「見開きページ」のチェックを入れます。

Step 5 「ページサイズ」でご希望のサイズを選択するか、「幅」と「高さ」にご希望のサイズを数値で直接入力します。

Step 6 「方向」で縦長のドキュメントか、横長のドキュメントかを指定します。

「綴じ方」で冊子の綴じ位置が、右側か左側かを指定します。「見開きページ」のチェックが外れている場合（チラシなどの単ページ案件）はどちらでも構いません。

Step 7 「裁ち落としと印刷可能領域」の「裁ち落とし」の「天」、「地」、「左」、「右」に「3mm」を入力します。「裁ち落とし」が「塗り足し」部分にあたります。「印刷可能領域」は基本全て「15mm」に設定します。

※ 「見開きページ」にチェックを入れた場合は、「左」の表記が「ノド」に、「右」の表記が「小口」になります。

Step 8 「レイアウトグリッド」か「マージン・段組み」どちらかのボタンを押して設定が終了となります。



Check Point (全バージョン共通)

「塗り足し」についての詳しい説明は、P38の「データ作成時には「塗り足し」「見切れては困るオブジェクト」に注意してください」をご参照ください。

データ作成時のご注意とチェック

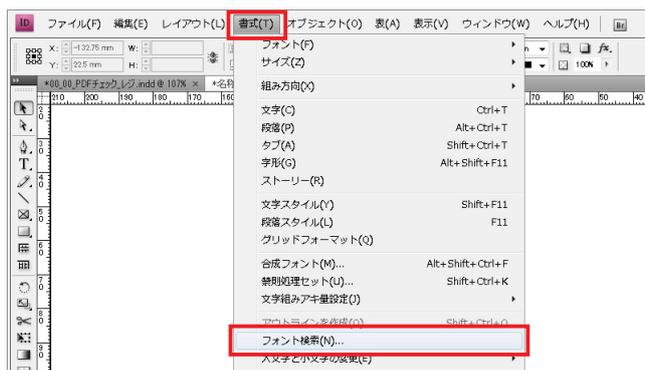
InDesign CS CS2 CS3 CS4 CS5



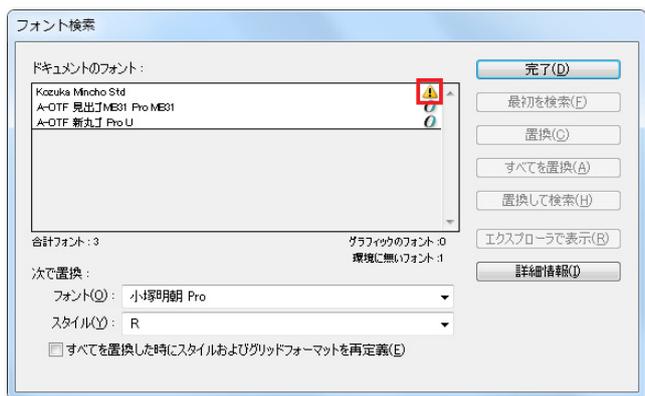
フォントのチェック

ここでは、**InDesign CS ~ CS5**のフォントチェックの手順を説明します。
フォントが全てアウトライン化されている場合であっても、「**フォント検索**」にて問題がないかをチェックしてください。

作業手順



Step 1 「書式」メニューから「**フォント検索**」を選択します。



Step 2 使用されているフォントの一覧が表示されます。
一覧の中でフォント名の後ろに ⚠ マークが付いているフォントが、**PC にインストールされていないために問題のあるフォント**になります。

問題のあるフォントは必ず修正していただく必要があります。

修正方法は、「**PC にフォントをインストールする**」、または「**すでに PC にインストールされている他のフォントに置き換える**」のどちらかとなります。

⚠ 埋め込みできない書体に注意

「**フォント検索**」で問題がない場合でも、**エンベッド(埋め込み)** が許可されていないフォントもあります。**エンベッド(埋め込み)** できないフォントがある場合や、フォント関連の問題のエラーで変換できない場合は、PDF 変換する前に**文字を全てアウトライン化すること**で PDF を作成する事が可能となります。

データ作成時のご注意とチェック

InDesign

CS

CS2

CS3

CS4

CS5



リンクのチェック

ここでは、**InDesign CS ~ CS5** のリンクチェックの手順を説明します。

作業手順 (CS ~ CS4)



Step 1 配置した画像の状況を「リンク」パレットで確認します。

「リンク」パレットが表示されていない場合は「ウィンドウ」メニューから「リンク」を選択します。

配置されている画像のファイル名の後ろに が付いている場合は、**同じ名前の画像ファイルが見つからない状態**です。

が付いている状態では画像が抜けたり、プレビューの粗い状態で印刷されてしまいます。

配置されている画像のファイル名の後ろに が付いている場合は、画像に変更が加わっていて、**配置した時と保存日時が異なる場合**に表示されます。

が付いている状態では、画像が変更前の古い状態のデータで印刷されてしまいます。

が表示されている場合は、「他の画像に置き換える」または「画像を配置し直す」のどちらかで修正する必要があります。

が表示されている場合は、「画像を更新する」または「画像を配置し直す」のどちらかで修正する必要があります。

作業手順 (CS5)



Step 1 配置した画像の状況を「リンク」パレットで確認します。

「リンク」パレットが表示されていない場合は「ウィンドウ」メニューから「リンク」を選択します。

配置されている画像のファイル名の前に が付いている場合は、**同じ名前の画像ファイルが見つからない状態**です。

が付いている状態では画像が抜けたり、プレビューの粗い状態で印刷されてしまいます。

配置されている画像のファイル名の前に が付いている場合は、画像に変更が加わっていて、**配置した時と保存日時が異なる場合**に表示されます。

が付いている状態では、画像が変更前の古い状態のデータで印刷されてしまいます。

が表示されている場合は、「他の画像に置き換える」または「画像を配置し直す」のどちらかで修正する必要があります。

が表示されている場合は、「画像を更新する」または「画像を配置し直す」のどちらかで修正する必要があります。

PDF X-1a の作成 InDesign CS

InDesign CS CS2 CS3 CS4 CS5



InDesign CS PDF X-1a 形式の作成

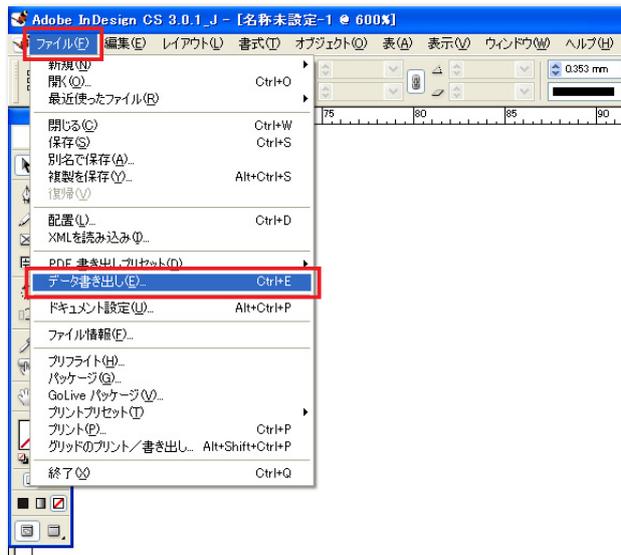
ここでは、**InDesign CS** の PDF の作成の手順を説明します。

PDF X-1a 形式は印刷に準拠した形式ですので、印刷に関わる大半のトラブルが解消されます。

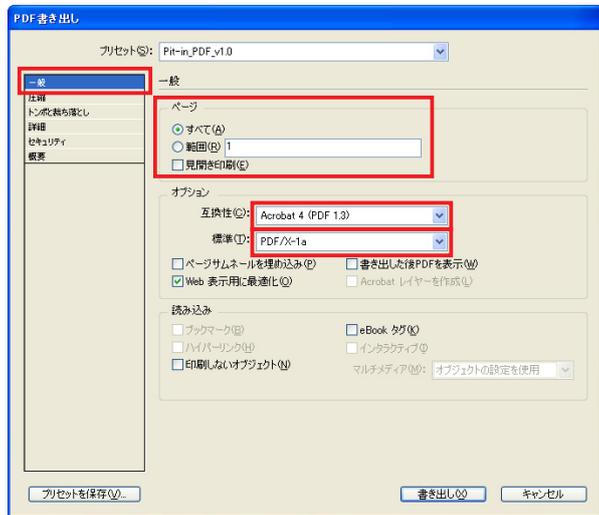
弊社プリセットをご使用していない場合は、下記手順に従って作業して下さい。

作業手順

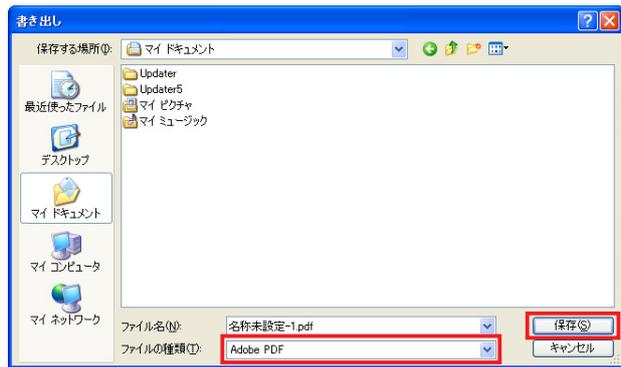
Step 1 「ファイル」メニューから「データ書き出し」を選択します。



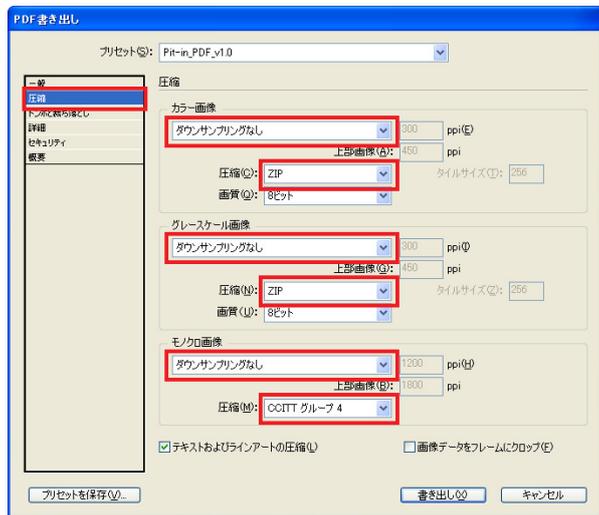
Step 3 「PDF 書き出し」のウィンドウが表示されます。「一般」の「ページ」は基本的には「すべて」を選択します。範囲を指定したい場合は、「範囲」を選択してページを数値入力します。「オプション」の「互換性」は「Acrobat 4 (PDF 1.3)」を選択します。「標準」は「PDF/X-1a」を選択します。



Step 2 保存場所、ファイル名を指定して「ファイルの種類」を「Adobe PDF」を選択して「保存」を押します。



Step 4 「圧縮」に切り替えます。画像は全て「ダウンサンプルしない」を選択します。「カラー画像」と「グレースケール画像」の「圧縮」は「ZIP」か「JPEG」を選択します。「JPEG」を選択した場合は「画質」で「最高」を選択して下さい。「モノクロ画像」の「圧縮」は「CCITT Group 4」のままでも問題ありません。



はじめに

Illustrator

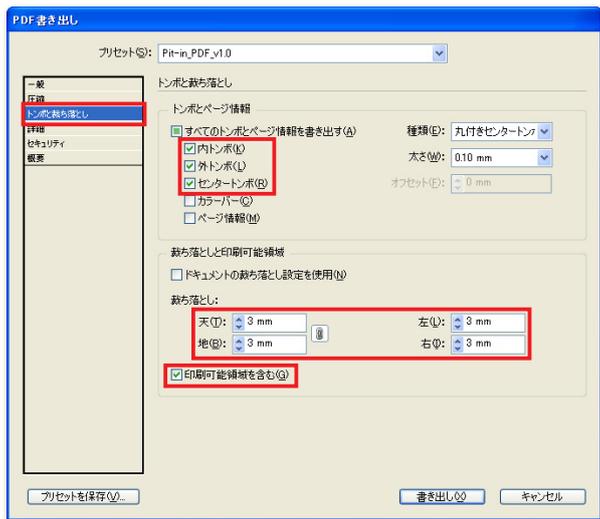
InDesign

Quark XPress

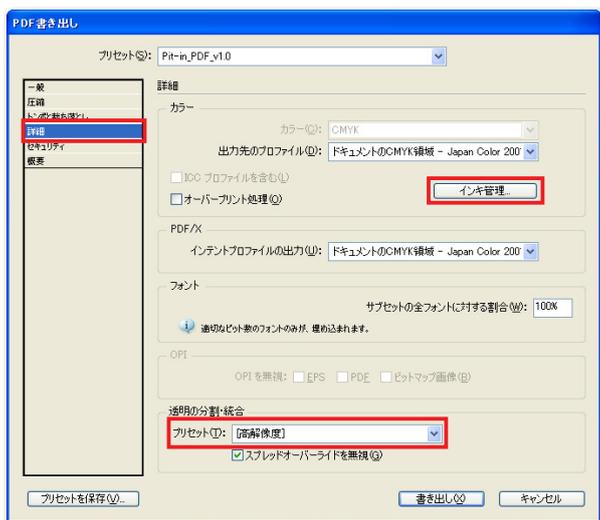
確認項目

折り加工

- Step 5** **〈トンボと裁ち落とし〉** に切り替えます。
〈トンボとページ情報〉 の **〈内トンボ〉**、**〈外トンボ〉**、**〈センタートンボ〉** だけにチェックを入れます。
〈裁ち落としと印刷可能領域〉 の **〈裁ち落とし〉** の **〈天〉**、**〈地〉**、**〈左〉**、**〈右〉** は全て **「3 mm」** と入力します。
〈印刷可能領域を含む〉 にチェックを入れます。
 ※データが見開きで作成されている場合は、**〈左〉** の表記が **〈ノド〉** に、**〈右〉** の表記が **〈小口〉** になります。



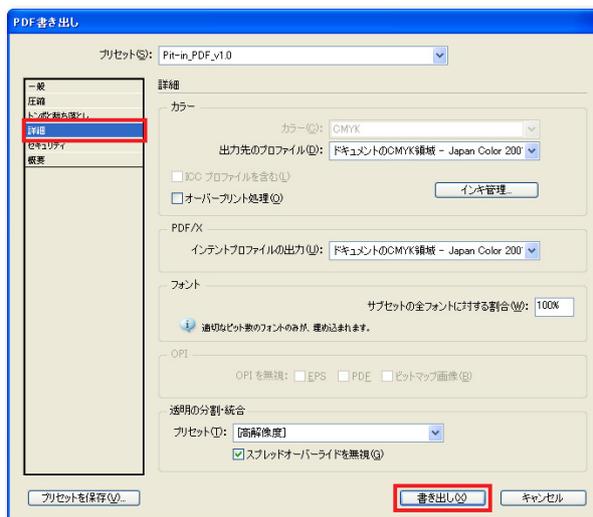
- Step 6** **〈詳細〉** に切り替えます。
〈透明の分割・統合〉 の **〈プリセット〉** の設定は **「高解像度」** を選択します。
〈インキ管理〉 をクリックします。



- Step 7** **〈すべての特色をプロセスカラーへ〉** にチェックを入れ **〈OK〉** ボタンを押します。
 ※特色が使用されていない場合は選択できません。



- Step 8** **〈セキュリティ〉** に切り替えます。
〈セキュリティ〉 のチェックが全て外れている事を確認します。



- Step 9** **〈書き出し〉** を押すと PDF が作成されます。
 作成された PDF を開き、問題がないか確認します。

Check Point

弊社プリセットを **P9** で設定が済んでいる場合は、**Step 3** の画面で **〈プリセット〉** から **「Pit-in_PDF_v1.0」** を選択します。



「Pit-in_PDF_v1.0」 を選択すると、**Step 3 ~ 6、8** の手順は確認のみのカンタンな作業で済みます。
Step 7 はその都度確認が必要です。
 また、作成後の **「確認項目」** についての詳しい説明は、**P36 ~ 43** をご参照ください。

PDF X-1a の作成 InDesign CS2 ~ CS5

InDesign CS CS2 CS3 CS4 CS5



InDesign CS2 ~ CS5 PDF X-1a 形式の作成

ここでは、InDesign CS2 ~ CS5 の PDF の作成の手順を説明します。

PDF X-1a 形式は印刷に準拠した形式ですので、印刷に関わる大半のトラブルが解消されます。

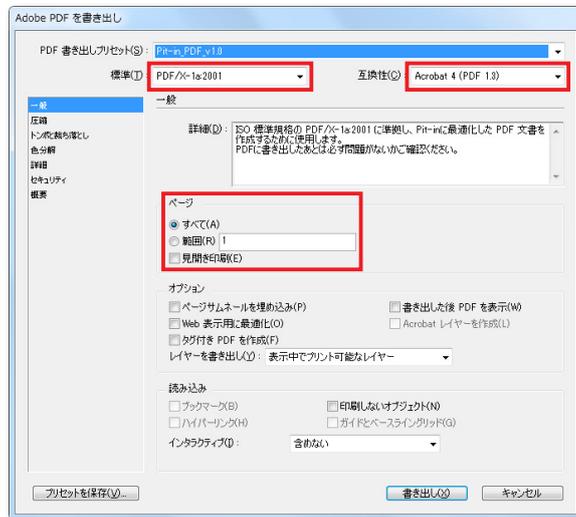
弊社プリセットをご使用していない場合は、下記手順に従って作業して下さい。

作業手順

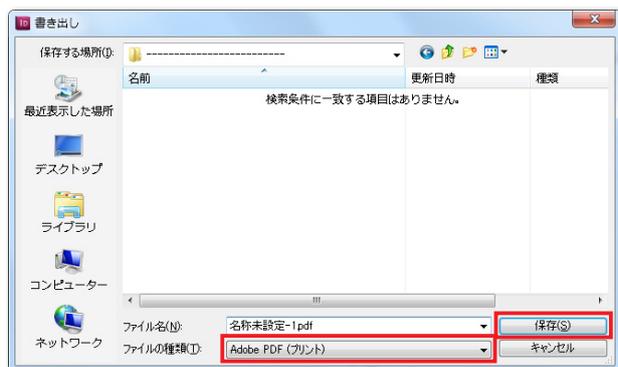
Step 1 「ファイル」メニューから「書き出し」を選択します。



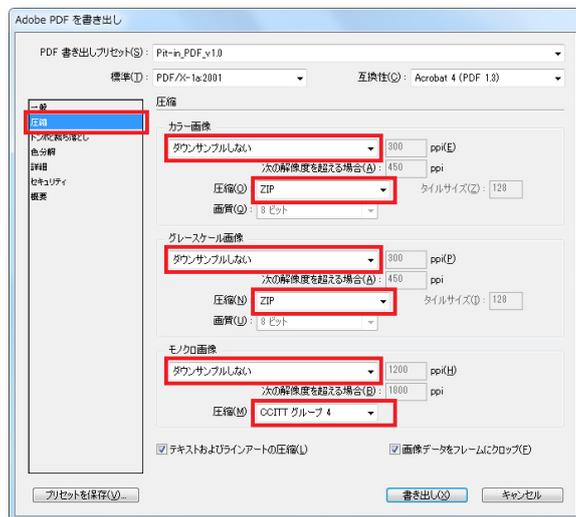
Step 3 「Adobe PDF を書き出し」が表示されます。「標準」は「PDF/X-1a2001」を選択します。「互換性」は「Acrobat 4 (PDF 1.3)」を選択します。「一般」の「ページ」は基本的には「すべて」を選択します。範囲を指定したい場合は、「範囲」を選択してページを数値入力します。



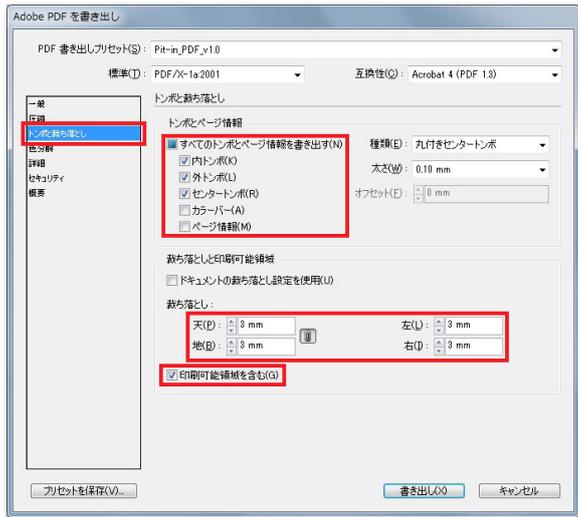
Step 2 保存場所、ファイル名を指定して「ファイルの種類」を「Adobe PDF (プリント)」を選択して「保存」を押します。



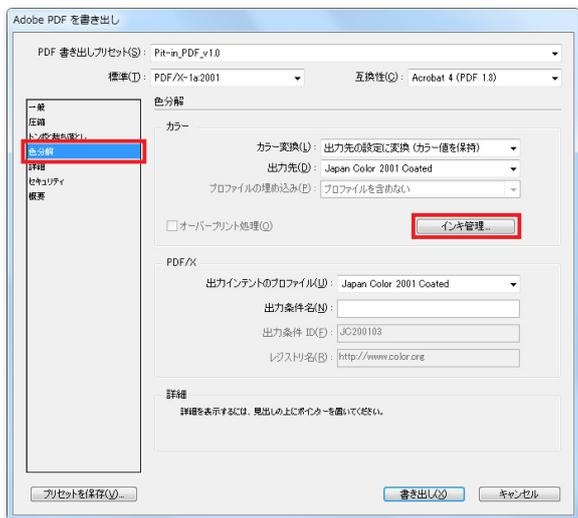
Step 4 「圧縮」に切り替えます。画像は全て「ダウンサンプルしない」を選択します。「カラー画像」と「グレースケール画像」の「圧縮」は「ZIP」か「JPEG」を選択します。「JPEG」を選択した場合は「画質」で「最高」を選択して下さい。「モノクロ画像」の「圧縮」は「CCITT Group 4」のままでも問題ありません。



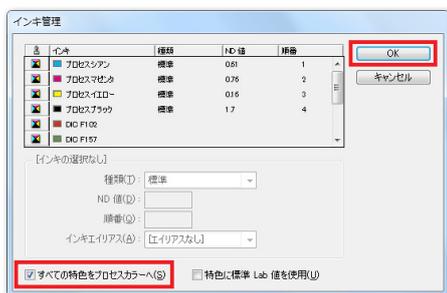
- Step 5** **〈トンボと裁ち落とし〉** に切り替えます。
〈トンボとページ情報〉 部分の **〈内トンボ〉**、**〈外トンボ〉**、**〈センタートンボ〉** だけにチェックを入れます。
〈裁ち落としと印刷可能領域〉 の **〈裁ち落とし〉** の **〈天〉**、**〈地〉**、**〈左〉**、**〈右〉** は全て **「3 mm」** と入力します。
〈印刷可能領域を含む〉 にチェックを入れます。
 ※データが見開きで作成されている場合は、**〈左〉** の表記が **〈ノド〉** に、**〈右〉** の表記が **〈小口〉** になります。



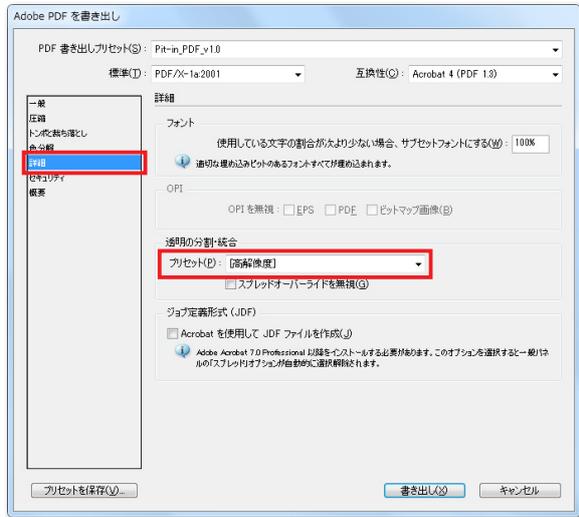
- Step 6** **〈色分解〉** に切り替えます。
〈インキ管理〉 をクリックします。



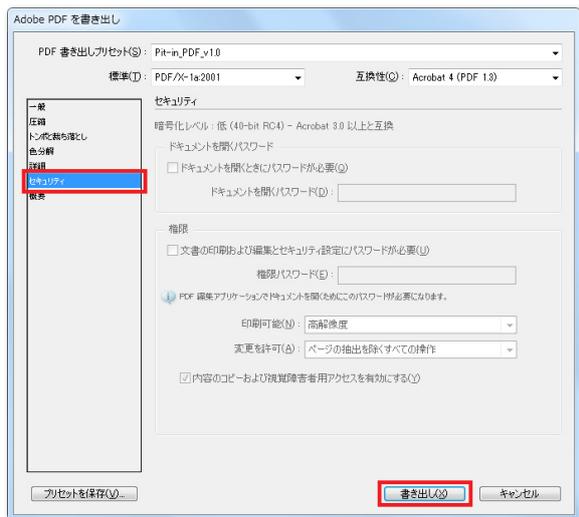
- Step 7** **〈すべての特色をプロセスカラーへ〉** にチェックを入れ、**〈OK〉** ボタンを押します。
 ※特色が使用されていない場合は選択できません。



- Step 8** **〈詳細〉** に切り替えます。
〈プリセット〉 の設定は **「高解像度」** を選択します。



- Step 9** **〈セキュリティ〉** に切り替えます。**〈セキュリティ〉** が何も設定されていない事を確認します。



- Step 10** **〈書き出し〉** を押すと PDF が作成されます。
 作成された PDF を開き、問題がないか確認します。

Check Point

弊社プリセットを **P9** で設定が済んでいる場合は、**Step 3** の画面で **〈PDF 書き出しプリセット〉** から **「Pit-in_PDF_v1.0」** を選択します。

「Pit-in_PDF_v1.0」 を選択すると、**Step 3 ~ 6、8、9** の手順は確認のみのカンタンな作業で済みます。**Step 7** はその都度確認が必要です。また、作成後の **「確認項目」** についての詳しい説明は、**P36 ~ 43** をご参照ください。

新規ドキュメント作成 QuarkXPress 8

Quark XPress 8

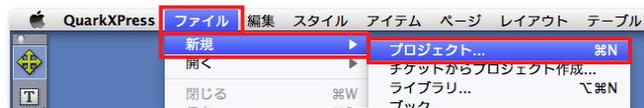


QuarkXPress 8 の新規ドキュメントの作成方法

ここでは、**Quark XPress 8** の新規ドキュメントの作成の手順を説明します。

Quark XPress 8 では、**最初に新規ドキュメントの作成の際に、必ず印刷をご希望するサイズでページサイズを設定していただくようお願いいたします。** データを作成してからでは、サイズなどの修正の後にレイアウトのバランスなども修正する必要があり、大変な手間がかかります。

作業手順



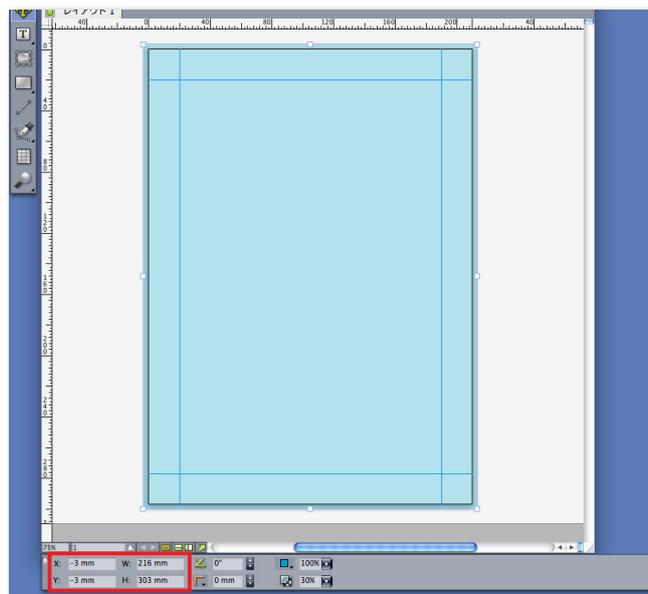
Step 1 「ファイル」メニューの「新規」より「プロジェクト」を選択します。



Step 2 〈レイアウトタイプ〉は「印刷」を選択します。チラシなどの単ページ案件は〈見開き〉のチェックを外し、冊子などの案件の場合は〈見開き〉のチェックを入れます。

Step 3 〈ページ〉の〈サイズ〉でご希望のサイズを選択するか、〈横〉と〈縦〉にご希望のサイズを数値で直接入力します。「OK」を押すと新規プロジェクトが開きます。

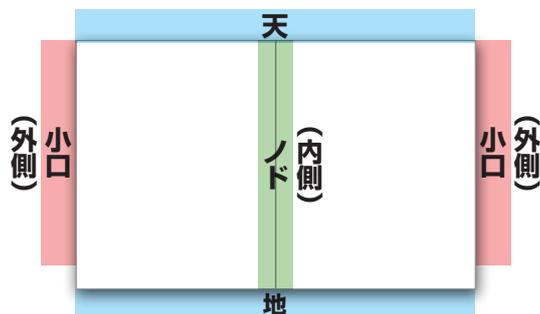
Step 4 〈方向〉で縦長のドキュメントを作成したい場合は、〈縦置き〉を選択し、横長のドキュメントを作成したい場合は、〈横置き〉を選択します。



Step 5 フチ無印刷をご希望の場合は、仕上がりよりオブジェクトを「3mm」外側へはみ出した状態で作成する必要があります。はみ出す部分が「塗り足し」になります。

ノド・小口について

〈見開き〉にチェックを入れた場合は「マージンガイド」の「左」が「内側」、「右」が「外側」に表示が切り替わります。「内側」は綴じる部分の「ノド」になり、「外側」は「小口」部分となるため注意が必要です。



Check Point

「塗り足し」についての詳しい説明は、P38の「データ作成時には「塗り足し」「見切れては困るオブジェクト」に注意してください」をご参照ください。

はじめに

Illustrator

InDesign

Quark XPress

確認項目

折り加工

データ作成時のご注意とチェック

Quark XPress 8

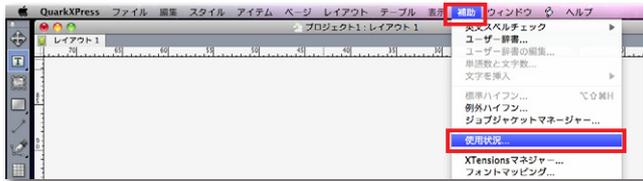


QuarkXPress 8 フォントとリンクのチェック

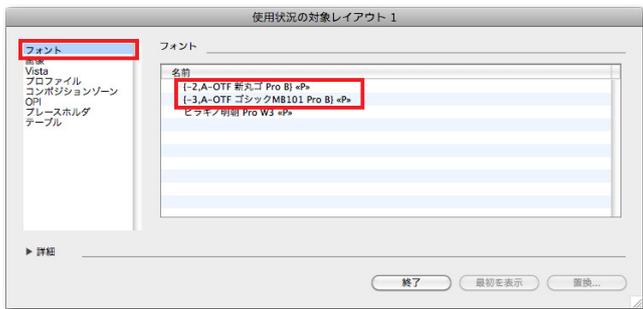
ここでは、**Quark XPress 8**のフォントとリンクのチェックの手順を説明します。

フォントが全てアウトライン化されている場合でも、「補助」メニューの「使用状況」の「フォント」にて、問題がないかチェックしてください。

フォントのチェックの作業手順



Step 1 「補助」メニューから「使用状況」を選択します。



Step 2 左側のリストより「フォント」をクリックします。表示されているフォントの名前のリストの中で、**中括弧 ({ })** で囲まれたフォントが、**PC にインストールされていないため問題のあるフォント**になります。

修正方法は、「**PC にフォントをインストールする**」、または「**すでに PC にインストールされている他のフォントに置き換える**」のどちらかとなります。



埋め込みできない書体に注意

「使用状況」の「フォント」で問題がない場合でも、**エンベッド (埋め込み)** が許可されていないフォントもあります。**エンベッド (埋め込み)** できないフォントがある場合や、フォント関連の問題のエラーで変換できない場合は、PDF 変換する前に**文字を全てアウトライン化**することで PDF を作成する事が可能となります。

リンクのチェックの作業手順



Step 1 「補助」メニューから「使用状況」を選択します。



Step 2 左のリストより「画像」を選択します。配置した画像の状態を「状況」で確認します。

画像の「状況」が「移動」になっている場合は、**同じ名前の画像ファイルが見つからない状態**です。

この状態では画像が抜けたり、プレビューの粗い状態で印刷されてしまいます。

画像の「状況」が「変更」になっている場合は、画像に変更が加わっていて、**配置した時と保存日時が異なる場合**に表示されます。この状態では**画像が変更前の古い状態のデータ**で印刷されてしまいます。

「**画像を更新する**」または「**画像を配置し直す**」のどちらかで修正する必要があります。

画像の「状況」が「変更」になっている場合のみ、右下の「更新」ボタンで「**画像を更新する**」事ができます。

PDF X-1a の作成 QuarkXPress 8

Quark XPress 8



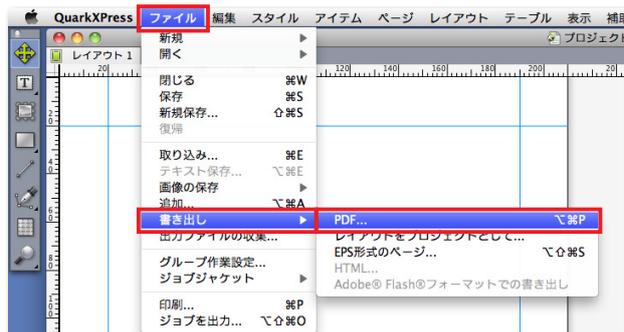
Quark XPress 8 PDF X-1a 形式の作成

ここでは、**Quark XPress 8** の PDF の作成の手順を説明します。

PDF X-1a 形式は印刷に準拠した形式ですので、印刷に関わる大半のトラブルが解消されます。弊社「**出カスタイル**」を必ずご使用して下さい。

作業手順

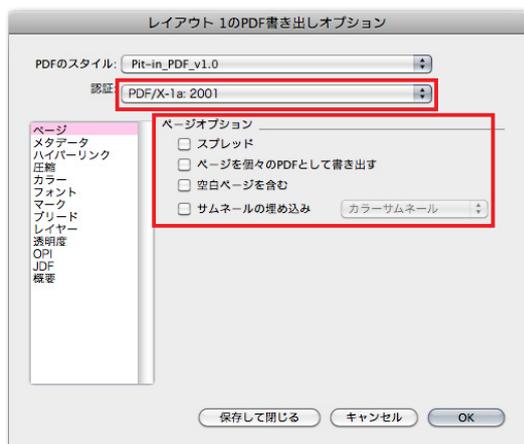
Step 1 「ファイル」メニューの「書き出し」より「PDF」を選択します。



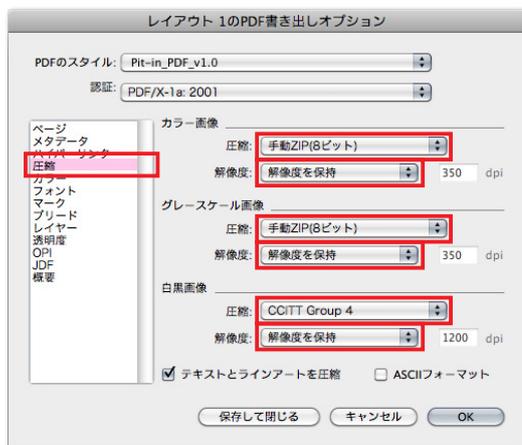
Step 2 〈名前〉と〈場所〉を指定し、〈PDFのスタイル〉を「Pit-in_PDF_v1.0」を選択し「オプション」を押します。



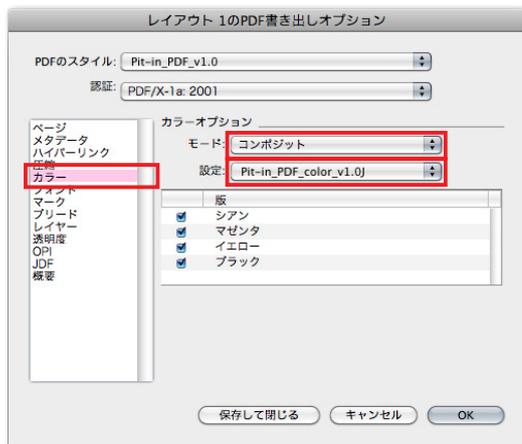
Step 3 〈認証〉は「PDF/X-1a:2001」を選択します。〈ページオプション〉のチェックは全て外します。データが開きの場合「スプレッド」にチェックを入れます。



Step 4 左側のメニューより「圧縮」を選択します。〈解像度〉は全て「解像度を保持」を選択します。〈カラー画像〉の〈圧縮〉と〈グレースケール画像〉の〈圧縮〉は「手動 ZIP (8ビット)」を選択します。〈白黒画像〉の〈圧縮〉は「CCITT Group 4」を選択します。



Step 5 左側のメニューより「カラー」を選択します。〈カラーモードオプション〉の〈モード〉は「コンポジット」を選択します。〈設定〉は「Pit-in_PDF_color_v1.0J」を選択します。



はじめに

Illustrator

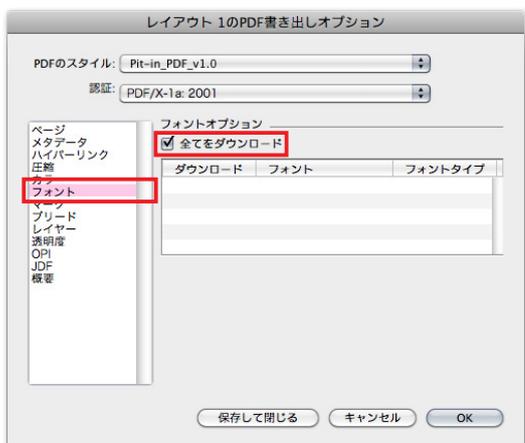
InDesign

Quark XPress

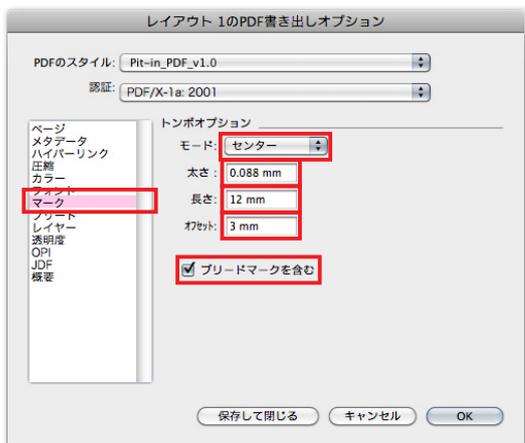
確認項目

折り加工

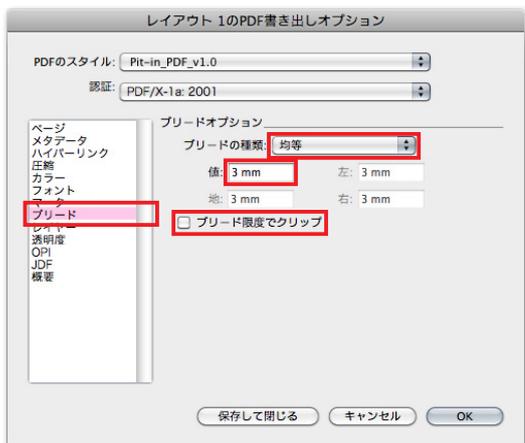
Step 6 左側のメニューより「**フォント**」を選択します。
〈フォントオプション〉の**「全てをダウンロード」**にチェックを入れます。



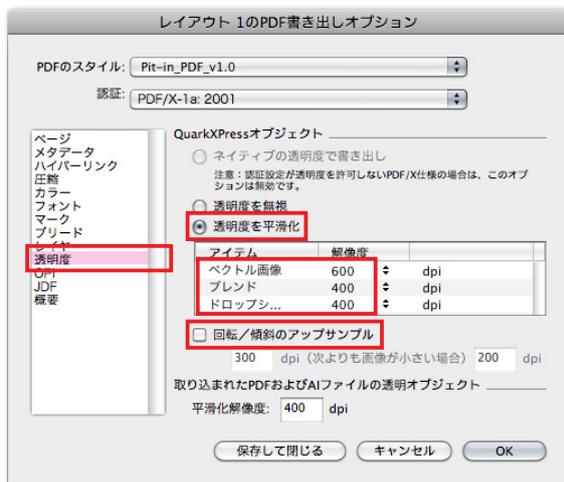
Step 7 左側のメニューより「**マーク**」を選択します。
〈トンボオプション〉の**〈モード〉**は「**センター**」を選択。
〈太さ〉は「**0.088 mm**」のまま、**〈長さ〉**は「**12 mm**」、**〈オフセット〉**は「**3 mm**」と入力します。
「ブリードマークを含む」にチェックを入れます。



Step 8 左側のメニューより「**ブリード**」を選択します。
〈ブリードオプション〉の**〈ブリードの種類〉**は「**均等**」を選択し、**〈値〉**に「**3 mm**」を入力します。**〈ブリード限度でクリップ〉**は折り加工のトンボ指示などを作成している場合はチェックを外します。

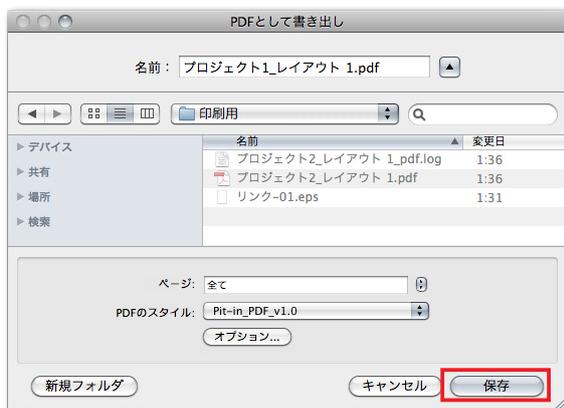


Step 9 左側のメニューより「**透明度**」を選択します。
〈QuarkXPress オブジェクト〉の**「透明度を平滑化」**にチェックを入れます。**〈ベクトル画像〉**は「**600**」、**〈ブレンド〉**と**〈ドロップシャドウ〉**は「**400**」にします。
〈回転／傾斜のアップサンプル〉のチェックを外します。



Step 10 その他の**〈メタデータ〉**、**〈ハイパーリンク〉**、**〈レイヤー〉**、**〈OPI〉**、**〈JDF〉**のメニューは「**PDF/X-1a**」では特に設定するところはありません。「**OK**」ボタンを押します。

Step 11 **Step 2**と同じ画面に戻りますので、「**保存**」を押すとPDF作成が開始されます。



Check Point

弊社プリセットを **P10**、**11** で設定が済んでいる場合は、**Step 2**の画面で**〈PDFのスタイル〉**から「**Pit-in_PDF_v1.0**」を選択します。



「**Pit-in_PDF_v1.0**」を選択すると、**Step 3 ~ 9**の手順は確認のみのカンタンな作業で済みます。また、作成後の「**確認項目**」についての詳しい説明は、**P36 ~ 43**をご参照ください。

サイズの確認

Acrobat Pro 7・8・9



修正必須

お客様のご了承で生産可

サイズの確認について

ここでは **Acrobat Pro** でのサイズの確認方法を説明します。**Adobe Reader** では**トンボが付いている場合のサイズの確認はできません**のでご注意ください。PDF 作成前のアプリケーション (InDesign や Illustrator など) で、印刷用 PDF データを作成する際にサイズを確認してから PDF 作成をお願いいたします。



PDF の状態により、確認手順が異なります (例: A4 サイズ)

1 仕上がりサイズの PDF の場合



詳細情報
PDF 変換: Adobe PDF Library 9.0
PDF のバージョン: 1.3 (Acrobat 4.x)
場所: C:\
ファイルサイズ: 713.56 KB (730,689 バイト)
ページサイズ: 210 x 297 mm
タグ付き PDF: いいえ

2 塗り足しを含んだサイズの PDF の場合



詳細情報
PDF 変換: Adobe PDF Library 9.0
PDF のバージョン: 1.3 (Acrobat 4.x)
場所: C:\
ファイルサイズ: 713.59 KB (730,717 バイト)
ページサイズ: 216 x 303 mm
タグ付き PDF: いいえ

3 トンボが付いている場合

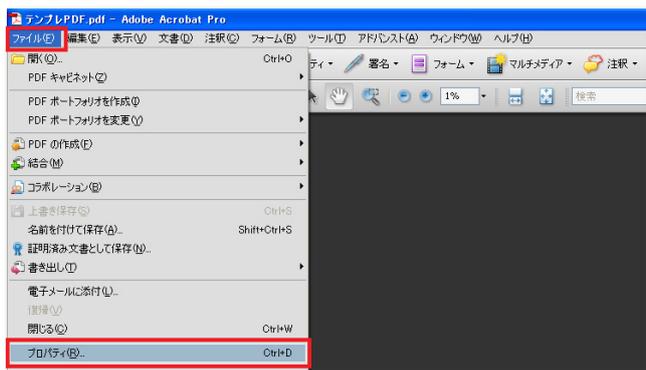


詳細情報
PDF 変換: Adobe PDF Library 9.0
PDF のバージョン: 1.3 (Acrobat 4.x)
場所: C:\Documents and Settings\User\Desktop\
ファイルサイズ: 714.19 KB (731,329 バイト)
ページサイズ: 236 x 323 mm
タグ付き PDF: いいえ

「プロパティ」で表示されるサイズは、データの作成方法により異なります。

- 1 仕上がりサイズで PDF を作成の場合は、「プロパティ」でのサイズと同じである必要があります。
- 2 塗り足しを含めたサイズで PDF を作成の場合は「プロパティ」でのサイズから上下左右「-6mm」の値がご希望の仕上がりサイズとなります。
- 3 トンボが付いている場合は確認手順が異なりますのでご注意ください。

1 仕上がりサイズ・2 塗り足しを含んだサイズの確認手順



Step 1

「ファイル」メニューの「プロパティ」を選択します。



Step 2

〈概要〉タブの〈詳細情報〉の「ページサイズ」の数値が PDF のサイズとなります。



Check Point

弊社で推奨の新規作成方法や、弊社テンプレートをご利用いただいたデータから PDF を作成した場合は、仕上がりサイズに **30 mm 足したサイズ**の PDF データになります。

(InDesign・Illustrator・Quark XPress)
いずれもトンボを含んだサイズとなります。

はじめに

Illustrator

InDesign

Quark XPress

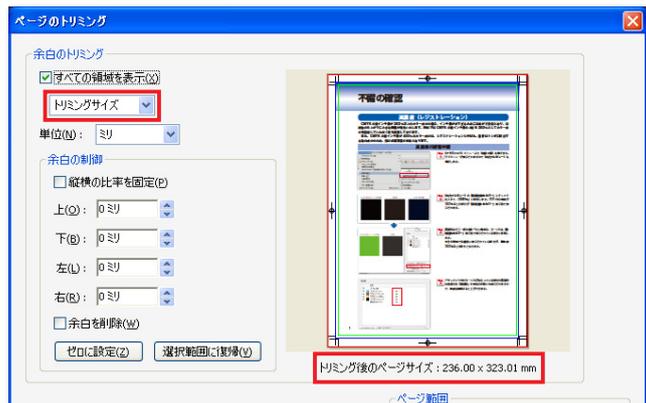
確認項目

折り加工

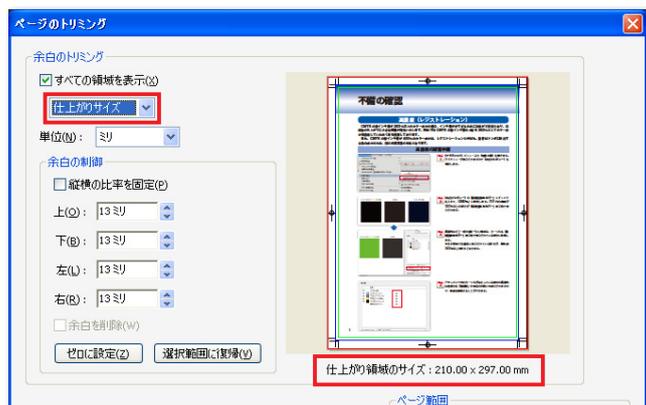
3 トンボが付いている場合のサイズの確認手順



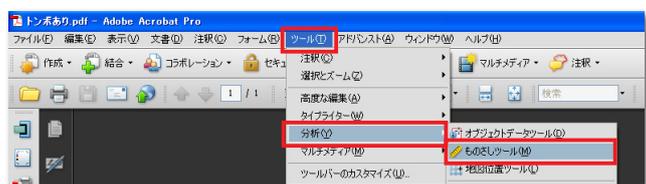
Step 1 PDFデータ内にトンボがある場合は、トンボがどのようになっているかでサイズの確認の仕方が異なります。「文書」メニューから「ページのトリミング」を選択します。



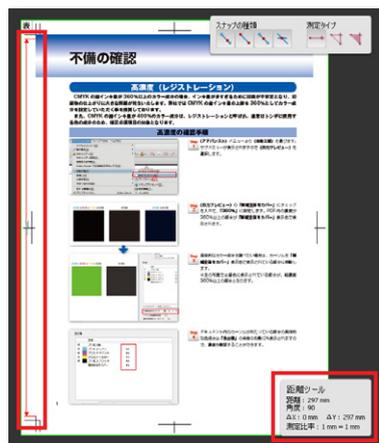
Step 2 「ページのトリミング」画面では、右側のプレビューの下にサイズが表示されます。「トリミング後のページサイズ」の数値は、**■ 仕上がりサイズ・■ 塗り足しを含んだサイズの確認手順の Step 2** の、「概要」タブの「詳細情報」の「ページサイズ」の数値と同様のサイズとなります。



Step 3 「トリミングサイズ」と表示されているプルダウンメニューから「仕上がりサイズ」を選択します。右側のプレビューの下の表示が「仕上がり領域のサイズ」に変わりますので、「仕上がり領域のサイズ」の数値がご希望のサイズになっているかを確認してください。確認後は「キャンセル」をクリックします。



Step 4 「トリミングサイズ」と表示されているメニューから「仕上がりサイズ」を選択してもサイズが変わらない場合は、「ツール」メニューの「分析」から「ものさしツール」を選択し、上下左右それぞれのトンボの内側同士を図ります。「距離ツール」の「距離」の数値が仕上がりサイズとなりますので確認してください。ツールを使用した後は、必ず保存せずに閉じてください。



Check Point

1 2 3の手順で、確認したサイズがご希望のサイズではなかった場合は、PDF作成前のアプリケーションでサイズを修正する必要があります。

「塗り足し」と断裁位置に近いオブジェクトの確認

Acrobat Pro 7・8・9



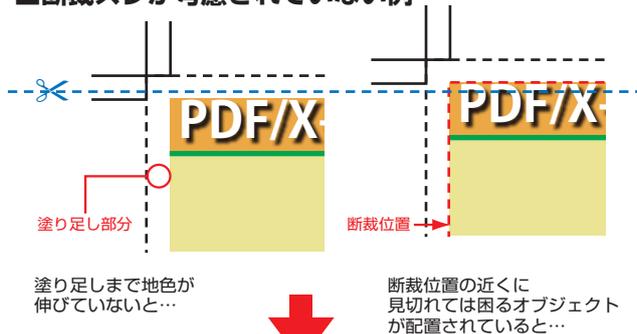
お客様のご了承で生産可

断裁時のズレを考慮したデータであるかの確認

大きな紙に印刷された印刷物を、商品ごとの仕上がりサイズに切り落とします。印刷物を商品ごとの仕上がりサイズに切り落とす作業を「断裁」と呼びます。「断裁」は一枚一枚ではなく一度に大量の印刷物を切り落とす為、断裁時の刃先の流れや、紙の伸縮などが原因で若干のズレが生じる場合がございます。切り落とし位置に微妙なズレが生じる場合がございますので、「断裁」のズレを考慮したデータ作成をお願いしております。

「塗り足し」と断裁位置に近いオブジェクトがないかの確認方法

■断裁ズレが考慮されていない例



塗り足しまで地色が伸びていないと…

断裁位置の近くに見切れては困るオブジェクトが配置されていると…

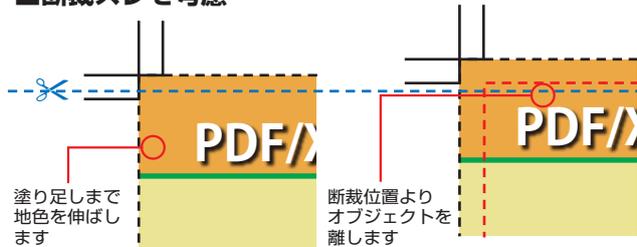
■断裁イメージ



仕上がり位置に紙白が出てしまう場合があります

文字などが見切れてしまう場合があります

■断裁ズレを考慮



塗り足しまで地色を伸ばします

断裁位置よりオブジェクトを離します

Step 1

「塗り足し」とは仕上がりサイズよりも、はみ出した形で写真や地色を付ける事をいいます。

左の図の「断裁ズレが考慮されていない例」のように「塗り足し」が作成されていないと、断裁ズレによって「断裁イメージ」のように、仕上がり線に沿って紙白が出てしまう恐れがあります。

また、断裁位置の近くに文字などの見切れては困るオブジェクトがあると、断裁ズレによって「断裁イメージ」のように文字が見切れてしまう恐れがあります。

紙白が出る恐れを防ぐためには、左の図の「断裁ズレを考慮」のように、写真や地色を仕上がりサイズの「3mm」外まで余分に作成します。

文字などの見切れては困るオブジェクトが見切れる恐れを防ぐためには、左の図の「断裁ズレを考慮」のように、文字などの見切れては困るオブジェクトを仕上がりサイズの「2mm」程度、内側に配置します。



Check Point

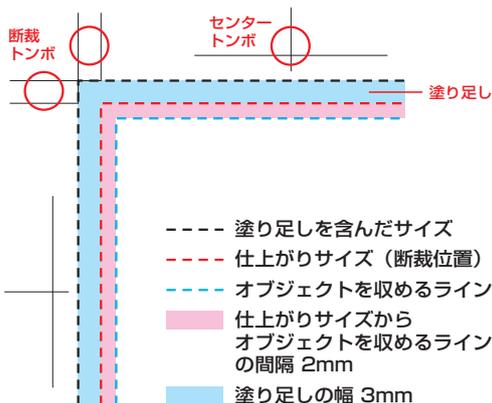
PDF データでは「塗り足し」「オブジェクトの見切れ」は修正できませんので、PDF 作成前の元のアプリケーションでご修正ください。



データ作成時には「塗り足し」「見切れては困るオブジェクト」に注意してください

データを作成する上で、「塗り足し」と「オブジェクト位置」に関しては下記を参照して作成をお願いします。

■各部の説明とデータ作成時のご注意



塗り足しが無く、見切れては困るオブジェクトが断裁位置に近いと、断裁後の印刷物は図のように、紙白が出てオブジェクトが見切れてしまいます。



塗り足し部分を3mm伸ばし、見切れては困るオブジェクトを断裁位置から2mm程度、内側に配置すると断裁後の印刷物は図のようにキレイに仕上がります。

はじめに

Illustrator

InDesign

Quark XPress

確認項目

折り加工

画像の粗さの確認

Acrobat Pro 7・8・9



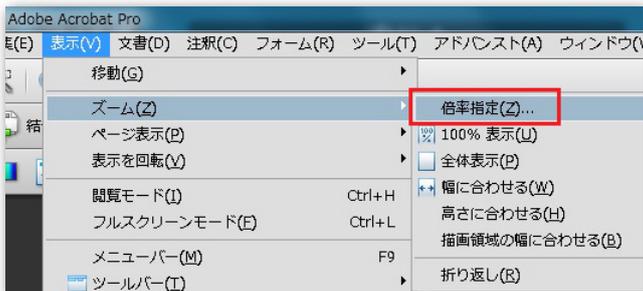
お客様のご了承で生産可

画像が粗く表現されていないかの確認

画像は一定の情報量（データ容量）に達していないと印刷した際に画像が粗くぼやけて表現されます。画像の絵柄の輪郭（特に曲線部）がドットのように粗く表現されます。画像が粗い・ぼやけて表現されている場合、印刷は可能ですが、弊社データチェックの際に**ご確認項目**の対象となりますのでご注意ください。

「元の画像のピントが甘い・粒子が粗い」などの場合は、画像データが一定の情報量（データ容量）に達していても粗い・ぼやけたように表現されます。

画像の粗さの確認方法



Step 1 **〈表示〉**メニューより**〈ズーム〉**を選びます。サブメニューが表示されますので**〈倍率指定〉**を選択します。表示倍率を**「300%」**に設定します。ドキュメントの表示が**「300%」**で表示されます。

Step 2 画像の粗さを目視で確認します。ドキュメントの表示が**「300%」**で粗く表現されていなければ問題ありません。目視で確認する場合の目安は下記をご参照ください。

画像の粗さの目安



高解像度画像 (350dpi)



低解像度画像 (72dpi)



高解像度画像 (350dpi)



低解像度画像 (72dpi)

左側が**高解像度画像（鮮明な画像）**、右側が**低解像度画像（粗く不鮮明な画像）**です。画像の絵柄の輪郭（特に曲線部）に注目しますと、ドットのように粗く表現されているのが分かります。**低解像度画像（粗く不鮮明な画像）**は印刷時にも粗く表現されてしまいます。画像が粗い状態でも印刷は可能ですが、**ご確認項目**の対象となりますのでご注意ください。



高解像度画像 (350dpi)



低解像度画像 (72dpi)

地図のように文字を含む内容で粗く見える画像は、文字が読めない場合があり、**印刷物の機能に著しく悪影響を与えます**。印刷時に使用するサイズと解像度を考慮して作成する必要があります。弊社にて、**印刷物の仕上がりに著しく悪影響を与えると判断した場合は、ご確認項目の対象となります**のでご注意ください。

Check Point

解像度 (dpi) は画像のキメ細かさを指す数値で、用途に応じて解像度の必要量が変わります。**「72dpi」**の場合、モニタ上ではキレイに表現されますが、印刷に必要な解像度に達していないので、印刷では粗くなってしまいます。画像データは印刷するサイズで作成した上で、**「300～400dpi」**の画像解像度に達している必要がございます。**解像度が足りていない画像しかお持ちでない場合、弊社にご了承の連絡**をいただければ生産工程に進行可能です。

用途別の画像解像度	単位：dpi
72～96dpi	主にWEBコンテンツ等に使用される解像度。モニタ表示用。
300～400dpi	印刷に最適な解像度。
800～1200dpi	文字などの二値階調で白と黒のみを表現する際に最適な解像度。

PDFデータでは**「画像解像度」**は修正できませんので、PDF作成前の元のアプリケーションでご修正ください。

はつめい

Illustrator

InDesign

Quark Xpress

確認項目

折り加工

高濃度(レジストレーション)の確認

Acrobat Pro 7・8・9



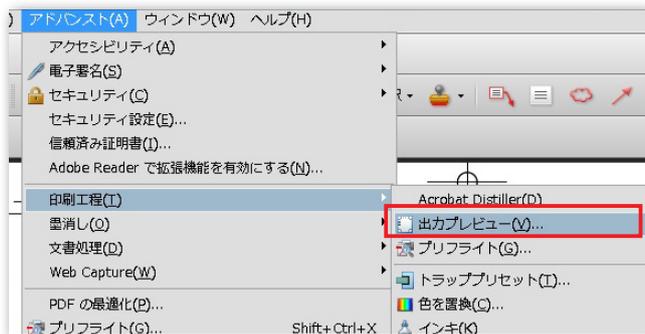
修正必須

高濃度 (レジストレーション)

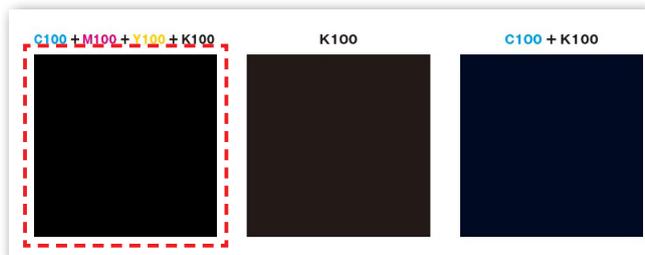
CMYK の総インキ量が 360%以上のカラー成分の場合、インキ量が多すぎるために印刷が不安定となり、印刷物の仕上がりに大きな問題が生じます。弊社では **CMYK の総インキ量の上限を 360%**としてカラー成分を設定していただく事を推奨しております。

また、CMYK の総インキ量が 400%のカラー成分は「**レジストレーション**」と呼ばれ、通常はトンボに使用する色の成分となり、**修正必須項目**の対象となりますのでご注意ください。

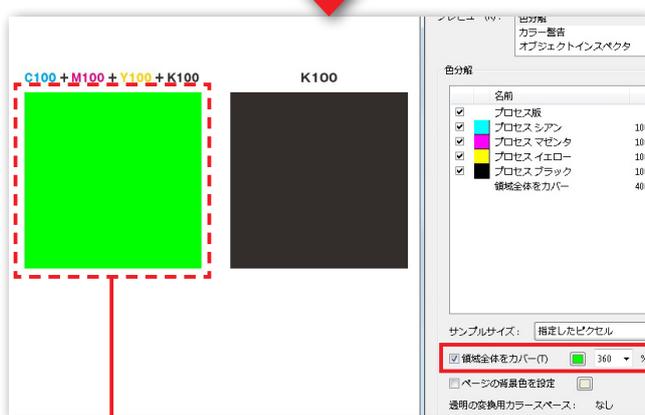
高濃度 (レジストレーション) の確認方法



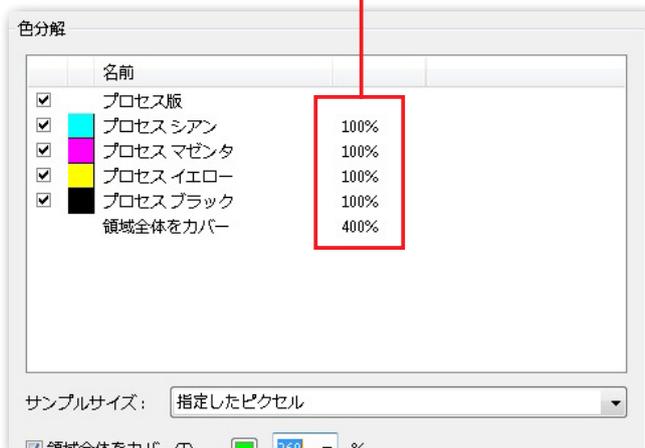
Step 1 **〈アドバンスト〉** メニューより **〈印刷工程〉** を選びます。サブメニューが表示されますので **〈出力プレビュー〉** を選択します。



Step 2 **〈出力プレビュー〉** の「**領域全体をカバー**」にチェックを入れて、「**360%**」に設定します。PDF 内の濃度が **360%以上**の部分が「**領域全体をカバー**」表示色で表示されます。
※「**400%**」に設定しますと「**レジストレーション**」部分が表示色で表示されます。



Step 3 具体的なカラー成分を調べたい場合は、カーソルを「**領域全体をカバー**」表示色で表示されている部分に移動します。
※左の写真では**緑色部分**が表示色であり、表示色部分の**総濃度が 360%以上**である事を示しています。



Step 4 ドキュメント内のカーソルがあたっている部分の具体的な色成分は、「**色分解**」の各版の右側に**%表示**されますので、各版の濃度を確認することができます。
※左の写真では**合計 400%**と表示されているので、カーソルの部分は「**レジストレーション**」となります。

Check Point
PDF データでは「**レジストレーション**」「**高濃度**」は修正できませんので、PDF 作成前の元のアプリケーションでご修正ください。

はじめに

Illustrator

InDesign

Quark XPress

確認項目

折り加工

リッチブラックの確認

Acrobat Pro 7・8・9



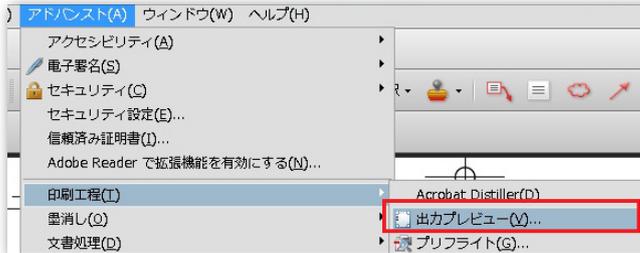
お客様のご了承で生産可

リッチブラック

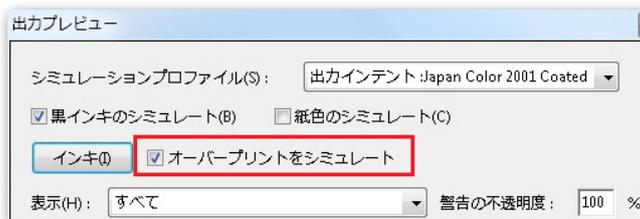
通常、黒色を表現する場合は K100% のみのカラー成分で表現します。リッチブラックとは深みのある黒色を意図的に表現したカラー成分です。意図的に深みのある黒色を表現されたい場合、弊社ではリッチブラックの成分を **C30% M30% Y30% K100%** に設定する事を推奨しております。

本文や表の文字などの小さい文字、細い線などがリッチブラックの色成分になっておりますと、版ズレが生じた際に文字や線がにじんだように見える場合があるため、データチェックの際に**ご確認項目**の対象となります。

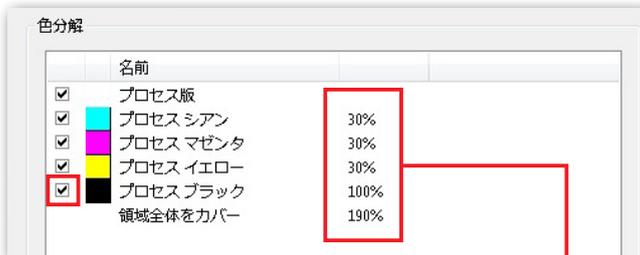
リッチブラックの確認方法



Step 1 **〈アドバンスト〉** メニューより **〈印刷工程〉** を選びます。サブメニューが表示されますので **〈出力プレビュー〉** を選択します。

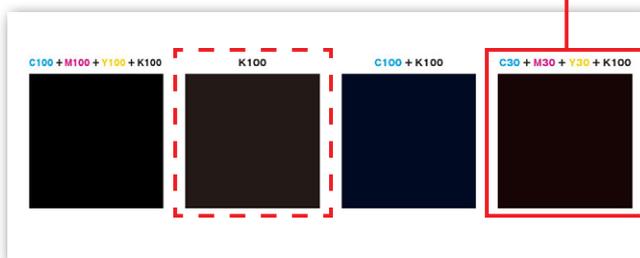


Step 2 **〈出力プレビュー〉** の「**オーバープリントをシミュレート**」にチェックを入れます。

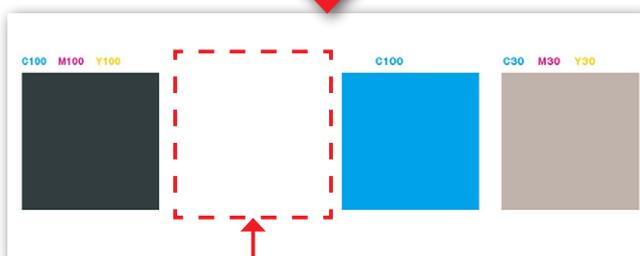


Step 3 **〈出力プレビュー〉** の **〈色分解〉** の「**プロセスブラック**」のチェックをはずします。

※左の写真では **C30%M30%Y30%K100%** と色成分が表示されているので、カーソルの部分は弊社推奨値の「**リッチブラック**」となります。



Step 4 PDF 内の CMYK の **K 版以外が表示** されます。画面上の見た目が黒色だったオブジェクトが **K 版が抜けた状態** で表示されます。見た目が黒色だった部分で、**K 版が抜けた状態でも色が残っている場合は「リッチブラック」と判断** できます。



Step 5 ドキュメント内のカーソルがあたっている部分の具体的な色成分は、「**色分解**」の各版の右側に **%表示** されますので、各版の濃度を確認することができます。

「**プロセスブラック**」のチェックをはずすと、**K 版の成分が抜けたのが画面上で分かります**。**K 版のみの「K100」部分**は白く抜けているので、気づきやすいと思います。

Check Point

PDF データでは「**リッチブラック**」は修正できませんので、PDF 作成前の元のアプリケーションでご修正ください。

はつるに

Illustrator

InDesign

Quark XPress

確認項目

折り加工

ブラックオーバープリント(スミノセ)の確認

Acrobat Pro 7・8・9



お客様のご了承で生産可

ブラックオーバープリント (スミノセ)

印刷では色と色の間にわずかな隙間が生じてしまう「見当ズレ」が発生する場合があります。「見当ズレ」が発生すると色の境目に他の色が出たり、紙の色の白が出てしまいます。

文字などでよく使用される 黒色 (K100%) は、わずかな隙間でも「見当ズレ」が目立ちます。そこで印刷上の黒は理論上、どのような色を加えても黒に見えるという特性があるので、**ブラックオーバープリント (スミノセ)** という処理をします。**ブラックオーバープリント**は、黒の下に重なっている色や図柄などが抜けず、黒 (K100%) を重ねて「見当ズレ」が発生しても隙間が生じないようにします。

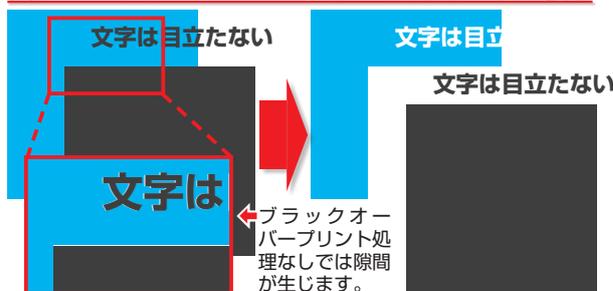
ブラックオーバープリント (スミノセ) 処理により、お客様の意図しない印刷結果になる場合がありますので、データチェック時にお客様の意図しない印刷結果と判断した場合は、**ご確認項目**の対象となります。

ブラックオーバープリント (スミノセ) の確認方法

Step 1 PDF データでは「ブラックオーバープリント」を確認する事ができません。「ブラックオーバープリント」はデータの作成方法によって、意図しない印刷結果になる場合があります。データ作成時は下記をご参照ください。

⚠️ ブラックオーバープリント (スミノセ) の構造 (説明のために図は誇張して表現しております)

図1 ブラックオーバープリント処理しない状態



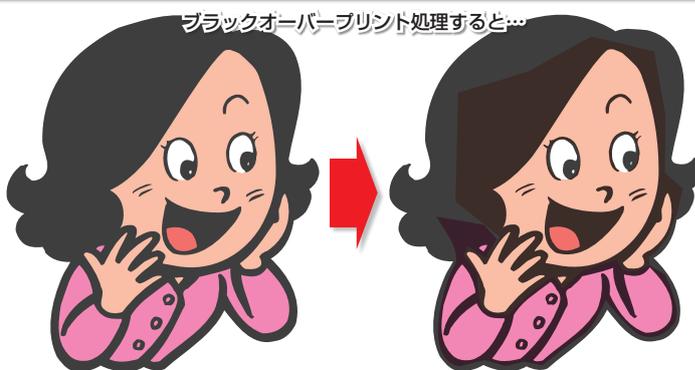
ブラック [K100%] とシアン [C100%] が重なり合ったオブジェクトがあります。「ブラックオーバープリント」の処理をしないと、図1のようにシアン [C100%] がくり抜かれた状態になります。この状態では「見当ズレ」による隙間が生じ、隙間から紙白が見えてしまいます。

図2 ブラックオーバープリント処理した状態

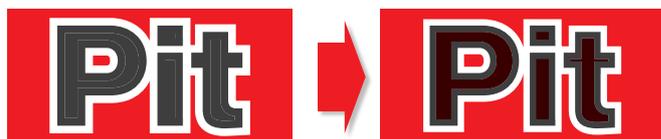


「ブラックオーバープリント」の処理をすると、図2のようにシアン [C100%] はくり抜かれませんが、文字では目立つ事はありませんが、ブラック [K100%] の面積が大きい場合は、シアン [C100%] に重なっている部分と重なっていない部分で濃度差が目立ちます。

⚠️ ブラックオーバープリント(スミノセ)の失敗例と対処法(説明のために図は誇張して表現しております)



女性のイラストの黒部分や花の写真に重なっている黒い帯のように、**大きな面積を使った黒のデザインの場合はブラックオーバープリント (スミノセ) による濃度差が目立ちます。**このようなデザインで濃度差が生じるのを回避するには**リッチブラック**が有効です。**黒部分を弊社推奨のリッチブラックの色成分、C30%M30%Y30%K100% に修正**します。



左のように、黒文字に地色が透けて見えてしまう場合は、文字の黒部分の色成分を **C1%K100%** に設定する事により、**ブラックオーバープリント**を回避できます。

はじめに

Illustrator

InDesign

Quark XPress

確認項目

折り加工

特色の使用の有無の確認

Acrobat Pro 7・8・9

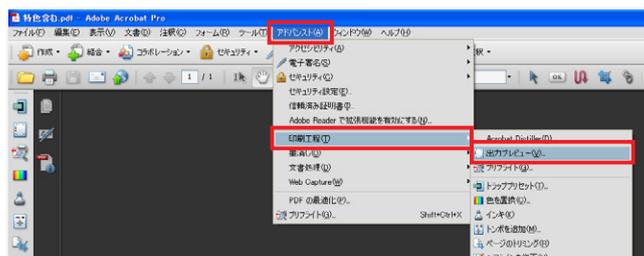


修正必須

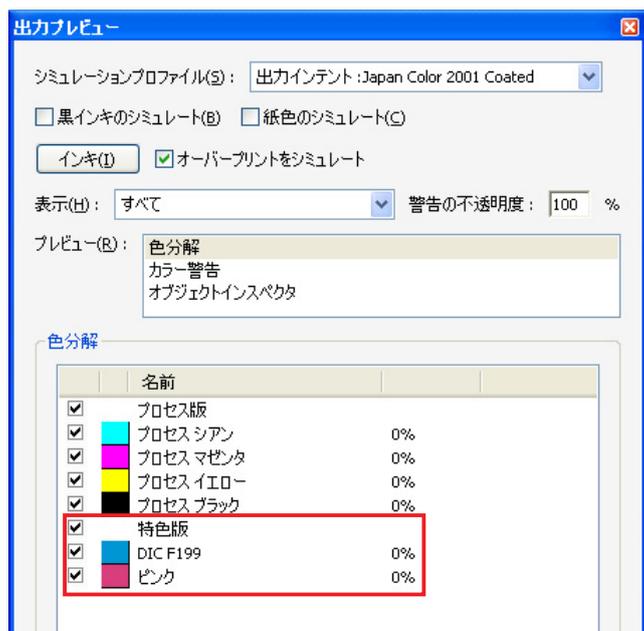
特色が使用されているか

印刷はプロセスカラー CMYK の 4 色で行います。特色を使用している場合はプロセスカラー CMYK の 4 色へ色分解しますが、色が抜けてしまうなどの意図しない印刷結果や、エラー等の不具合が起こる可能性があります。下記の方法で特色使用の有無を確認し、特色使用が確認できた場合はプロセスカラー CMYK の 4 色へ色分解した後に、再度 PDF へ変換していただく必要があります。特色使用の確認は Acrobat Pro ver. 7 以上でなくては確認できません。このハンドブックで各アプリケーションのチェック項目をご参照してください。

特色が使用されているかの確認方法



Step 1 「アドバンスド」メニューより「印刷工程」を選びます。サブメニューが表示されますので「出力プレビュー」を選択します。



Step 2 「出力プレビュー」の「色分解」の項目が「プロセス版」のみになっている事を確認します。

「プロセス版」の下に「特色版」と特色の名前が表示されていると、特色を使用しているデータとなります。

「特色版」が使用されている場合は、作成元データにて特色をプロセス分解した後、PDF を再度作成する必要があります。

Check Point

PDF データでも「特色」をプロセスカラーに分解する事は可能ですが、印刷時に不具合が生じますので、PDF 作成前の元のアプリケーションでご修正いただく事をお願いしております。

特色を含む PDF データは不具合が発生します

データ (DIC F199 とピンクの特色を含む)

PDF/X-1a

特色が色分解されないままの印刷結果

PDF/X-1a

特色を指定してデータ作成された場合、Illustrator は特色を一つずつ CMYK へ変換していく必要があります。

→ P16 Illustrator 「特色のチェック」参照

InDesign や QuarkXPress は PDF を書き出す際の設定により、一括で CMYK に変換することができます。

→ P28~31 InDesign 「PDF X-1a の作成」参照

→ P34~35 QuarkXPress 「PDF X-1a の作成」参照

特色が色分解されているデータの印刷結果

PDF/X-1a

はつらつ

Illustrator

InDesign

QuarkXPress

確認項目

折り加工

折り加工の指示について

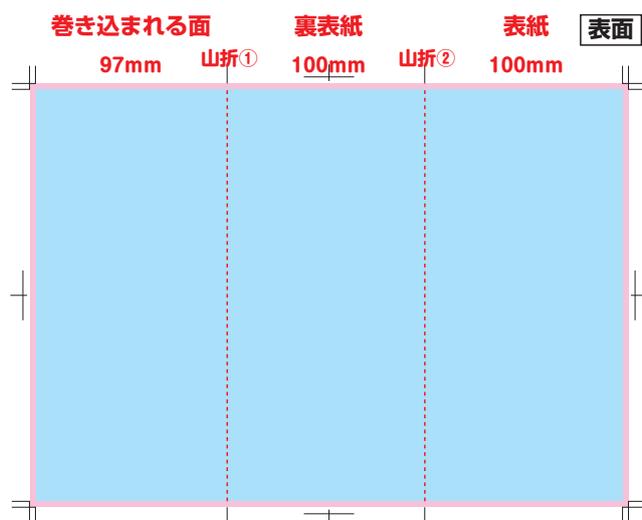
折り加工する場合には、具体的なご指示が必要となります。

具体的な折り加工のご指示は、印刷データ内に示すか、別途テキストデータなどでご指示ください。

折り加工のご指示の仕方

折り加工指示の例

A4 チラシ・フライヤー 巻き3つ折り加工
データ内に指示を表記する場合



折り加工のご指示は「塗り足し」よりも外側に入れてください。上の図ではピンクの部分が「塗り足し」となります。上の図では説明のために、折り位置に破線を入れておりますが、実際の印刷用データでは、お客様が破線を入れるデザインをご希望でない限りは、破線を入れる必要はございません。

Point

左の「折り加工指示の例」をご参照ください。

具体的にご指示をいただく内容は、

- ◇表紙がどの面になるか
- ◇折る位置（折る位置には折りトンボが必要です）
- ◇折り方が〈山折〉か〈谷折〉か
- ◇各面の折り幅（mm表記してください）となります。

他の注意事項としましては、

- ◇片面印刷の場合、印刷面が見えるように加工するのか、印刷面が内側になるように加工するのか
 - ◇変型の折り加工の場合、折る順番が決まっていればご指示をいただく必要があります
 - ◇印刷範囲内（塗り足しを含む）に加工指示が入っていないか
- にご注意ください。

別途テキストデータでご指示いただく場合は、**「PDFの1ページ目の右側が表紙。折り幅は表紙より100mm・100mm・97mmにする」**のように入力していただければ問題ございません。

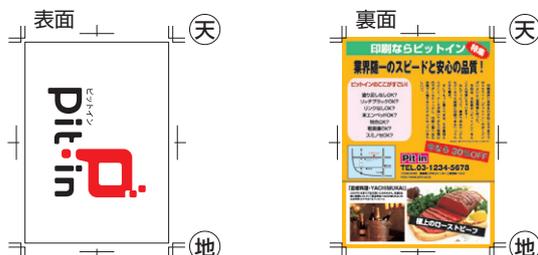
弊社にて判断しかねる場合は、**ご確認項目の対象**となりますのでご注意ください。

天地について

表裏で縦長と横長のレイアウトが混在している場合…



縦長に対して横長の左側が天になるように回転をかけます。



Point

仕上りの上部を「天」といい、仕上りの下部を「地」と呼びます。特別に「天」と「地」のご指示がない場合、データを開いたときに文字等が正しく読める状態の上部を「天」、下部を「地」とさせていただきます。

データ内容で判断出来ない場合は、データの上部を「天」、下部を「地」とさせていただきます。

左の図のように、表裏でタテ方向、ヨコ方向のレイアウトが異なる場合は、ヨコ方向のレイアウトの左側を「天」とさせていただきます。

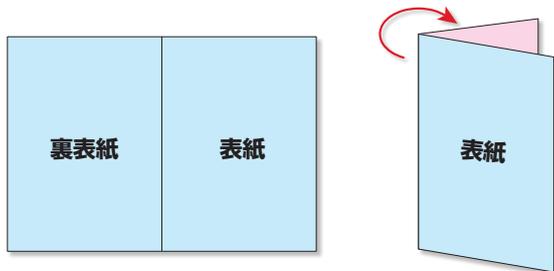
別途ご指定がある場合は、データ内に示すか、またはテキストにてご指示ください。

ここで紹介しております折り加工は Pit-in 対応の中の一部となります。他にも多種の折り加工に対応しております。詳しくは弊社ホームページ「<http://pdf-pitin.jp/>」でご確認ください。

Pit-in 対応の主な折り加工

2つ折り加工（パンフレット仕様）

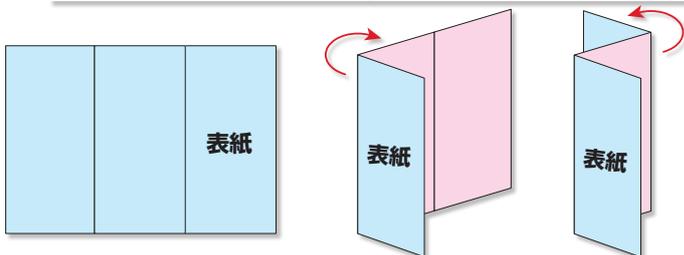
展開サイズ	仕上がりサイズ
A3 (420 × 297mm)	A4 (297 × 210mm)
B4 (364 × 257mm)	B5 (257 × 182mm)



お客様からの指示がない場合は、長い辺を半分に、表面が外側、裏面が内側（1 ページが外側、2 ページが内側）になるように折らせていただきます。

Z字（外3つ）折り加工（フライヤー仕様）

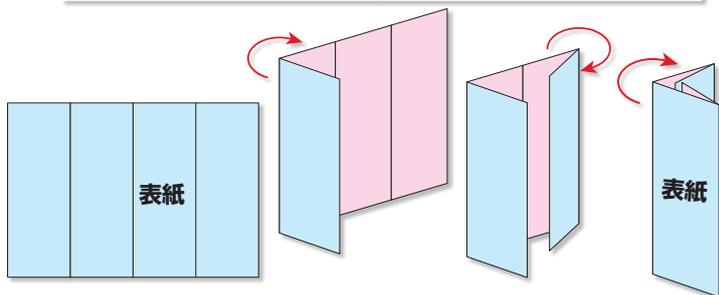
展開サイズ	仕上がりサイズ
A4 (297 × 210mm)	(210 × 99mm)
B5 (257 × 182mm)	(182 × 85.5mm)



折る位置を2ヶ所、長い辺が3等分になるように指定します。

両観音折り加工（パンフレット仕様）

展開サイズ	仕上がりサイズ
(836 × 297mm)	A4 (297 × 210mm)
弊社推奨折り幅	
表紙 210mm 裏表紙 210mm 巻き込まれる面 208mm	
展開サイズ	仕上がりサイズ
(724 × 257mm)	B5 (257 × 182mm)
弊社推奨折り幅	
表紙 182mm 裏表紙 182mm 巻き込まれる面 180mm	



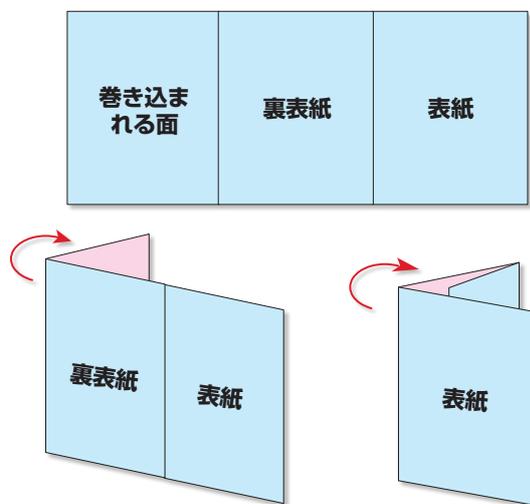
折る位置を3ヶ所指定します。長い辺の両端を折った後に、さらに真中で半分に折ります。中に巻き込まれる両端の面の幅を他の面より2mm程度小さくする必要があります。

片観音折り加工（パンフレット仕様）

展開サイズ	仕上がりサイズ
(627 × 297mm)	A4 (297 × 210mm)
推奨折り幅	
表紙 210mm 裏表紙 210mm 巻き込まれる面 207mm	
展開サイズ	仕上がりサイズ
(543 × 257mm)	B5 (257 × 182mm)
推奨折り幅	
表紙 182mm 裏表紙 182mm 巻き込まれる面 179mm	

巻き3つ折り加工（フライヤー仕様）

展開サイズ	仕上がりサイズ
A4 (297 × 210mm)	(210 × 100mm)
弊社推奨折り幅	
表紙 100mm 裏表紙 100mm 巻き込まれる面 97mm	
展開サイズ	仕上がりサイズ
B5 (257 × 182mm)	(182 × 86.5mm)
弊社推奨折り幅	
表紙 86.5mm 裏表紙 86.5mm 巻き込まれる面 84mm	



折る位置を2ヶ所指定します。中に巻き込まれる面は他の二つの面より小さく作成します。中に巻き込まれる面の幅を、他の面より2mm程度小さくする必要があります。



折り加工指示のご注意点

※各折り加工の図の「表紙」部分は一例としてご参照ください。どの面が「表紙」になるかのご指示をいただければ、ご指示通りに折り加工いたします。「表紙」部分は折り加工後に必ず表に見える部分となりますのでご注意ください。

※具体的なご指示がない場合は、弊社推奨値で折り加工させていただきます。弊社で折り加工する際に判断をしかねる場合は**ご確認項目**となりますのでご注意ください。

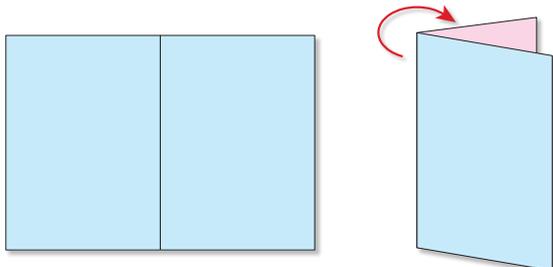
中綴じ冊子

中綴じ冊子の主な用途としては、会社案内・カタログ・パンフレットなどがあります。綴じ側をホッチキスで止める製本方法です。8ページから最大64ページまで対応しています。

オフセット印刷とデジタル印刷で、対応している中綴じ冊子の仕様が異なりますのでご注意ください。

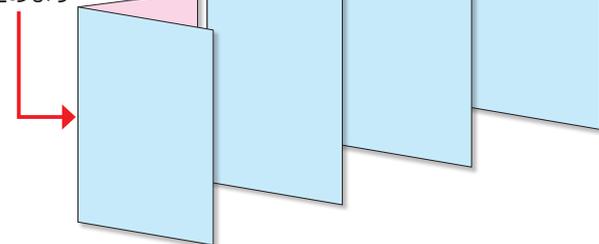
中綴じ冊子について

16ページ中綴じ冊子の例

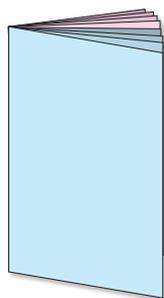


2つに折る前が展開サイズとなり、2つに折った際のサイズが冊子の仕上がりサイズとなります。

背をホッチキスで止めます



16ページ中綴じ冊子の場合、2つ折りしたものを4セット重ねるイメージです。



重ねたものをホッチキスで止めて、中綴じ冊子となります。

Point

中綴じ冊子は、綴じ側をホッチキスで止める製本方法で、2つ折り加工したものを重ねたものだとイメージしていただければ、分かりやすいかと思います。

対応ページ数は表紙を含んだページ数となりますので、ご注文の際はお気を付けください。

中綴じ冊子

オフセット	対応ページ数	デジタル	対応ページ数
	8～64ページ		8～40ページ
A4 中綴じ冊子 (オフセット・デジタル)			
展開サイズ	A3 (420 × 297mm)	仕上がりサイズ	A4 (297 × 210mm)
B5 中綴じ冊子 (オフセット・デジタル)			
展開サイズ	B4 (364 × 257mm)	仕上がりサイズ	B5 (257 × 182mm)
A5 中綴じ冊子 (オフセット)			
展開サイズ	(296 × 210mm)	仕上がりサイズ	A5 (210 × 148mm)
B6 中綴じ冊子 (オフセット)			
展開サイズ	(256 × 182mm)	仕上がりサイズ	B6 (182 × 128mm)
A6 中綴じ冊子 (オフセット)			
展開サイズ	A5 (210 × 148mm)	仕上がりサイズ	A6 (148 × 105mm)
CD サイズ中綴じ冊子 (オフセット)			
展開サイズ	(242 × 120mm)	仕上がりサイズ	(121 × 120mm)
A4 中綴じ冊子 (横綴じ) (オフセット)			
展開サイズ	(594 × 210mm)	仕上がりサイズ	A4 (297 × 210mm)
B5 中綴じ冊子 (横綴じ) (オフセット)			
展開サイズ	(514 × 182mm)	仕上がりサイズ	B5 (257 × 182mm)
A5 中綴じ冊子 (横綴じ) (オフセット)			
展開サイズ	(420 × 148mm)	仕上がりサイズ	A5 (210 × 148mm)

! ご入稿データの状態 (冊子共通事項)



単ページ入稿

or



見開きページ入稿

ご入稿データの状態は「単ページ入稿」か「見開きページ入稿」をお願いします。データは複数のファイルでもご入稿でも構いませんが、**ご注文のページ数分のデータがございませんとご確認項目**となりますのでご注意ください。



冊子注文時のご注意点

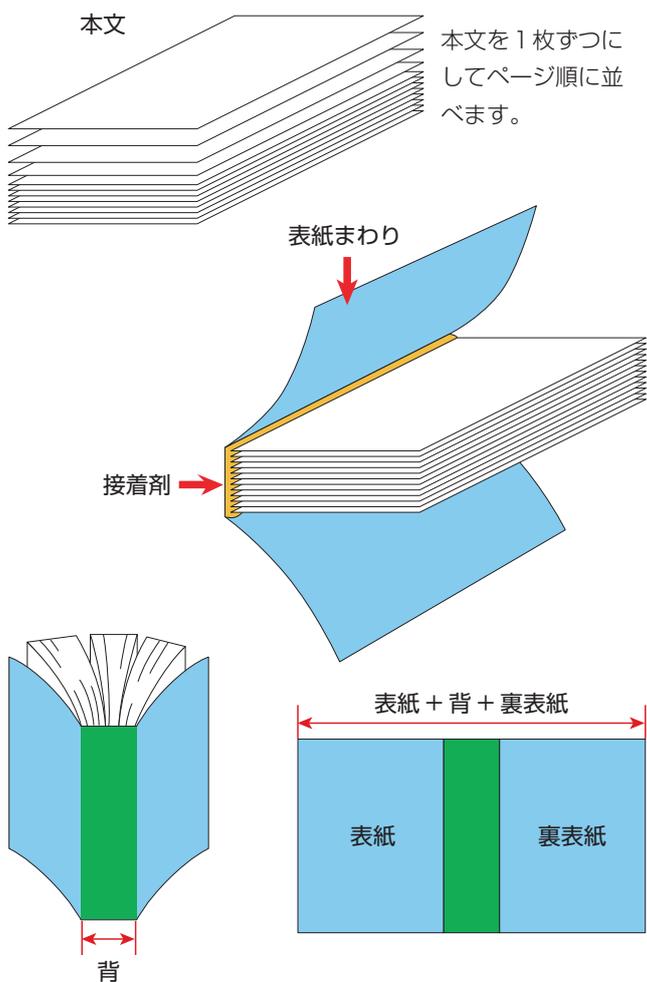
必ずページ数は、**中綴じ冊子では「4」の倍数に、無線綴じ冊子では偶数**になります。ご注文のページ数とデータのページ数が一致しない場合は、白ページを何ページ目に入れるかのご指示が必要となりますのでご注意ください。

無線綴じ冊子

無線綴じは製本する際に糸や針金などを使用せず、一枚ずつ切り離された本文をページ順に並べ、綴じる部分に接着剤を塗り、表紙でくるむ製本方法です。比較的ページ数の多い場合に向いています。

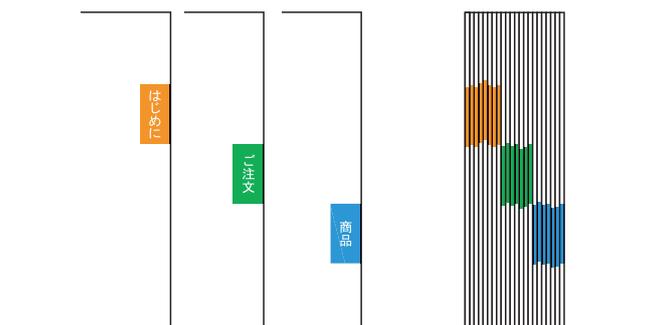
オフセット印刷とデジタル印刷で、対応している無線綴じ冊子の仕様が異なりますのでご注意ください。

無線綴じ冊子について



表紙まわり部分のデータを作成する場合、「表紙」と「背」と「裏表紙」をつなげて、見開いた状態で作成します。

（「背（せ）」に印刷内容を含まない場合は、表紙を単ページの状態で作成していただいても結構です。）



冊子物のデザインなどでよく使用されるインデックス（爪や柱など）は、製本作業工程で若干のズレが生じるため、完全に一定の高さには揃いませんのでご了承ください。

Point 無線綴じは、左の図のようにペラ丁合（本文を1枚ずつにしてページ順に並べる事）し、綴じる部分に接着剤を塗り、表紙でくるむ製本方法となります。

対応ページ数は表紙を含んだページ数となりますので、ご注文の際はお気を付けください。

無線綴じ冊子

オフセット	対応ページ数	デジタル	対応ページ数
	16～168ページ		24～200ページ
A4 無線綴じ冊子（オフセット・デジタル）			
展開サイズ	A3 (420 × 297mm)	仕上がりサイズ	A4 (297 × 210mm)
B5 無線綴じ冊子（オフセット・デジタル）			
展開サイズ	B4 (364 × 257mm)	仕上がりサイズ	B5 (257 × 182mm)
A5 無線綴じ冊子（オフセット）			
展開サイズ	(296 × 210mm)	仕上がりサイズ	A5 (210 × 148mm)

Point 無線綴じは重ねた本文を表紙でくるむため、表紙まわりのデータは重ねた本文の厚さだけ、大きく作成する必要があります。

この本文の厚みの部分を「背（せ）」と呼びます。背の幅は本文のページ数、用紙の種類と斤量により変わってきますので、表紙作成の際にはご注意ください。背の幅は注文予定に該当する用紙の種類と斤量の紙厚を元に、下記の表と数式で算出することができます。

背幅の求め方

$$\frac{\text{総ページ数} \times \text{下表の該当する紙厚}}{2}$$

用紙	斤量 (kg)	紙厚 (mm)	例：40Pの場合
コート	73	0.069	1.38 mm
	90	0.086	1.72 mm
	110	0.106	2.12 mm
	135	0.136	2.72 mm
マットコート	90	0.108	2.16 mm
	110	0.139	2.78 mm
	135	0.181	3.62 mm
上質	70	0.097	1.94 mm
	90	0.126	2.52 mm
	110	0.149	2.98 mm
	135	0.182	3.64 mm

